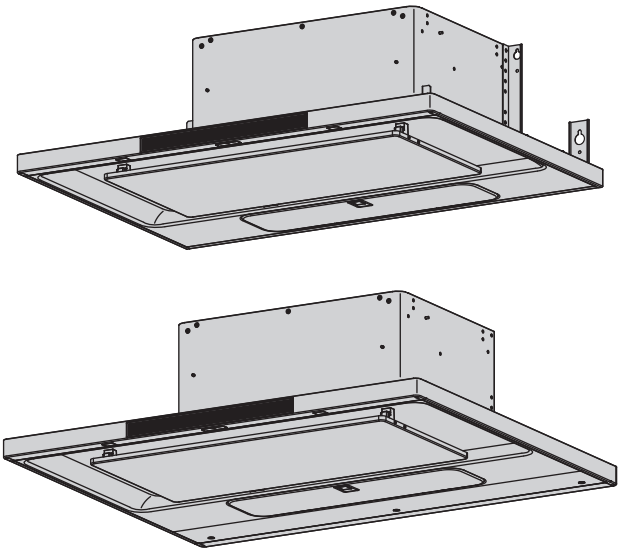
クリナップ®

洗エールレンジフード
取扱説明書　保証書付



壁付けタイプ

ZRS60ACF22MSZ（60cm幅 シルバー）
ZRS75ACF22MSZ（75cm幅 シルバー）
ZRS75ACF22MWZ（75cm幅 ホワイト）
ZRS75ACF22MTZ（75cm幅 マットブラック）
ZRS90ACF22MSZ（90cm幅 シルバー）
ZRS90ACF22MWZ（90cm幅 ホワイト）
ZRS90ACF22MUZ（90cm幅 ステンレス）
ZRS90ACF22MTZ（90cm幅 マットブラック）

サイドフード・センターフード

ZRS90KCG22MSZ（90cm幅 シルバー）
ZRS90KCG22MWZ（90cm幅 ホワイト）
ZRS90KCG22MUZ（90cm幅 ステンレス）
ZRS90KCG22MTZ（90cm幅 マットブラック）

安全上のご注意・・・・・・・・・・2〜3
お願い・・・・・・・・・・・・・・・・・4
お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・5
各部の名前とはたらき・・・・・・・・・6
特長・・・・・・・・・・・・・・・・7〜9
使いかた・・・・・・・・・・・・10〜12
ファンフィルターの洗浄・・・・13〜19
本体のお手入れ・・・・・・・・20〜23
もっと知りたいとき
　調理センサーの感度を変える・・・24
　連動モード設定を変える・・・・・24
　スタンバイ状態の設定を変える・・25
　排熱運転の開始温度を変える・・・25
　常時換気運転時の給気清浄ユニットの
　「連動」/「連動解除」を変える　・・25
　設置条件の設定を確認する・・・・26
故障かな！？・・・・・・・・・・27〜29
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・30
アフターサービス・・・・・・・・・・31
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・31

この度は、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。
ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

	このような図記号は、商品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	このような図記号は、商品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 警告


分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しない（パネル、ファンフィルターなどの本体部品）

火災・感電・けがの原因になります。
●修理はお買い上げの販売店またはクリナップカスタマーセンター（裏表紙に記載）へご相談ください。


水ぬれ禁止

水につけたり、水や洗剤をかけたりしない（モーター、スイッチなどの電気部品）

ショートや感電のおそれがあります。


ぬれ手禁止

電源プラグや分電盤のブレーカーはぬれ手で抜き差し、切／入しない

感電のおそれがあります。


接触禁止

レンジフード本体の吸込口の中に指や物を入れない

けがをするおそれがあります。


禁止

ガス漏れのときはレンジフードのスイッチを入れたり切ったりしない

スイッチ火花によりガス爆発の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。


禁止

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしない）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
●コードやプラグの修理は、販売店またはクリナップカスタマーセンター（裏表紙に記載）へご相談ください。



交流100ボルトで使用する

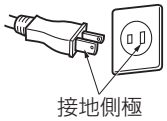
火災・感電の原因になります。

使用を終了した製品は放置せず、撤去する

万一の場合、落下により、けがをするおそれがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



⚠ 注意

禁止

レンジフードの下ではフランベをおこなわない
火災の発生の原因になります。

電源コードを引っ張ってプラグを抜かない
プラグを持って抜かないとコードが傷み、ショートや発火することがあります。

お手入れの際は連動機能付の調理機器を操作しない
けがをするおそれがあります。

照明を直接見ない
目がくらんだり、傷めたりするおそれがあります。

45 ℃以上のお湯を使用しない
プラスチック部品の変形や傷みにより、感電や漏電の原因になるおそれがあります。

ファンフィルターや整流板に市販のフィルターを重ねて使用しない
火災や、フィルターの破損による感電や漏電のおそれがあります。

パネルやファンフィルターは外さない
水漏れの原因になります。

専用のファンフィルター以外の部品は使用しない
専用のファンフィルター以外の部品を使用すると、けがや、水漏れの原因になります。

本体および給湯トレイに洗剤を入れて洗浄しない
泡があふれ、水漏れするおそれがあります。

レンジフードの上に物を置かない
物の落下により、けがをするおそれがあります。

排水トレイ、給湯トレイのふたを全周しっかり閉めこむ
水漏れの原因になります。

給湯トレイのお湯の中に、ホコリや異物がないことを確認する
故障の原因になります。

「洗浄」ランプが点灯したら、放置せずなるべく早く洗浄をおこなう
ファンフィルターの寿命を短くしたり、排気性能の低下につながるおそれがあります。

ファンフィルター洗浄を始める前に必ず排水トレイを空にする
排水があふれ、水漏れするおそれがあります。

整流板を落とさないように両手でしっかり支える
落下によりけがをしたり、部品のキズや変形の原因になります。

設置工事は必ず専門の工事業者に依頼する
けがをするおそれがあります。

本体はしっかり取り付いているか、確認する
落下により、けがをするおそれがあります。

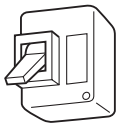
お手入れの際は、厚手のゴム手袋を使用する
板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをするおそれがあります。

取扱説明書に従って清掃する
清掃状態が悪いと、火災のおそれがあります。

お手入れの際は、換気運転を停止し、スイッチ操作をロックする
（スイッチ操作をロック/解除する ☞ 11ページ）
けがをするおそれがあります。

部品は確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



ブレーカー

お願い

初めてご使用になる前は

■初期設定の確認をしてください。
「エコ」ランプと「操作ロック」ランプが点滅している場合は「設置条件の設定」が完了していません。
レンジフードご使用の前にスイッチ操作を「ロック」して、設置条件の設定のしかたの①を確認し、③から設定してください。（☞ 26ページ）



■使いかたはトレイパネル内側の二次元コードから動画でご確認いただけます。（☞ 6ページ）

使用中は

■調理の際は、必ずレンジフードを運転してください。
レンジフード内の異常高温による故障の原因になります。

■室内に空気の取り入れ口があることをご確認ください。
空気の取り入れが不十分な場合、換気性能が低下したり、レンジフードに異音や振動が発生することがあります。

■調理機器とレンジフードの間に風があたらないようにしてください。
気流（風）の影響を受けると吸い込みが悪くなることがあります。

■テレビやラジオなどは、本体から1 m以上離してお使いください。
音響が雑音により聞こえにくくなったり、雑音が強く聞こえ耳ざわりに感じることがあります。

■次のような水は給湯トレイに入れないでください。
・45 ℃以上のお湯、化学薬品（重曹、クエン酸、セスキ炭酸ソーダ等）、芳香剤や洗剤を入れた水などは、本体の変形や故障の原因になることがあります。
・浄水器の水、アルカリイオン水、温泉水、ミネラルウォーター、お風呂の残り湯、井戸水などはカビや雑菌が繁殖する原因になるおそれがあります。

■高温になる使いかたはしないでください。
・ガスコンロの空だきはしない　・周囲温度40 ℃を超えない　・湯沸器の側方から50 cm以上離す　・業務用コンロで使用しない

IH調理機器を使うときは

■レンジフードに結露（水滴）が生じることがあります。
結露（水滴）が滴下する前にふき取ってください。

お手入れのときは

■洗浄運転中は整流板や排水トレイを外さないでください。
ファンフィルター洗浄中に整流板や排水トレイを外すとセンサーがはたらき洗浄が一時停止します。
整流板や排水トレイをすぐに元に戻すと運転を再開し正常に終了しますが、外した際の警告音が鳴りおわってから戻すと、洗浄終了後にもう1度洗浄作業が必要になります。（「再洗浄」ランプが点灯します）

■コンロ上のやかんや鍋などを片づけてからお手入れしてください。

■調理機器を停止し、熱い状態でないことを確認してから、調理機器の排気口を覆うように乾いた布などを添えてください。
給湯トレイ、排水トレイの着脱の際に、少量の水が滴下する場合があります。

製品の設置位置は

■信号受信部と照明器具を近づけすぎないでください。
照明器具が受信部から1 m以内に設置された場合、換気連動システムが正常に動作しないことがあります。

■調理機器の真上、80 cm以上の位置に取り付けてください。
火災予防のためフィルターの下端が調理機器の真上80 cm以上設けてください。
ただし、取り付け位置が高すぎると吸い込みが悪くなりますので、プランニングの際はご注意ください。

その他

■壁スイッチなどでレンジフードへの通電を遮断しないでください。
壁スイッチをご使用になり、レンジフードへの通電が遮断されますと、ファンフィルターの洗浄時期や交換時期を正しくお知らせできなくなります。

お知らせ

ファンフィルターの寿命について

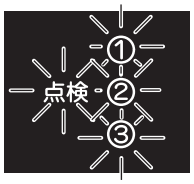
●ファンフィルターの交換時期は、目安として約10年※1です。

- 本体の「洗浄」ランプが点灯したら、必ずファンフィルターの自動洗浄をおこなってください。
- 自動洗浄は換気性能を維持するための機能であり、使用時間とともに汚れは残ります。

※１：中運転での換気を1日あたり5時間運転させた場合の換気風量から算出した値です。
また、常時換気をご使用の場合は、洗浄回数は月に1回程度となり、ファンフィルターの寿命は通常の約半分になります。
油煙の発生量が多い場合、ホコリを吸い込みやすい場合など、調理状況や使用環境によってはファンフィルターの交換時期が短くなる場合があります。

●ファンフィルターの交換時期がくると、「点検」「①」「②」「③」ランプが点灯してお知らせしますので、クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。（裏表紙に記載）

- ファンフィルターを交換すれば引き続き自動洗浄をご使用できます。(有料)



- 「点検」「①」「②」「③」ランプ点灯中に下記の操作で換気運転を停止すると、「ピーピーピーピー」と警告音が鳴ってファンフィルター交換時期を音によってもお知らせします。
  ・レンジフード本体の ⏻ を押したとき
  ・連動機能付の調理機器を切にしたとき
  ・別売リモコンの切ボタンを押したとき
  ・別売AiSEGの切ボタンを押したとき
- 適切な洗浄方法（洗浄周期・水温など）でおこなわれない場合、ファンフィルター寿命が極端に短くなる原因になります。

●ファンフィルターの交換は、アフターサービス会社にておこないます。（有料）
組み込み部品のため、お客様ご自身での交換はできません。
交換の依頼は、カスタマーセンターにお問い合わせください。

給気清浄フィルターの寿命について

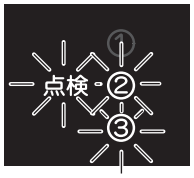
（別売オプションの給気清浄ユニットと専用幕板が設置されているときの機能です）

●給気清浄フィルターの交換時期は、目安として約10年※2です。

※２：換気を1日あたり６時間運転させた場合の換気風量より算出した値です。
また、常時換気をご使用の場合は、給気清浄フィルターの寿命は通常の約４分の１になります。
運転時間によっては給気清浄フィルターの交換時期は変動します。

●給気清浄フィルターの交換時期がくると、「点検」「②」「③」ランプが点灯してお知らせしますので、クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。（裏表紙に記載）

- 給気清浄フィルターを交換すれば引き続き給気清浄機能をご使用できます。(有料)



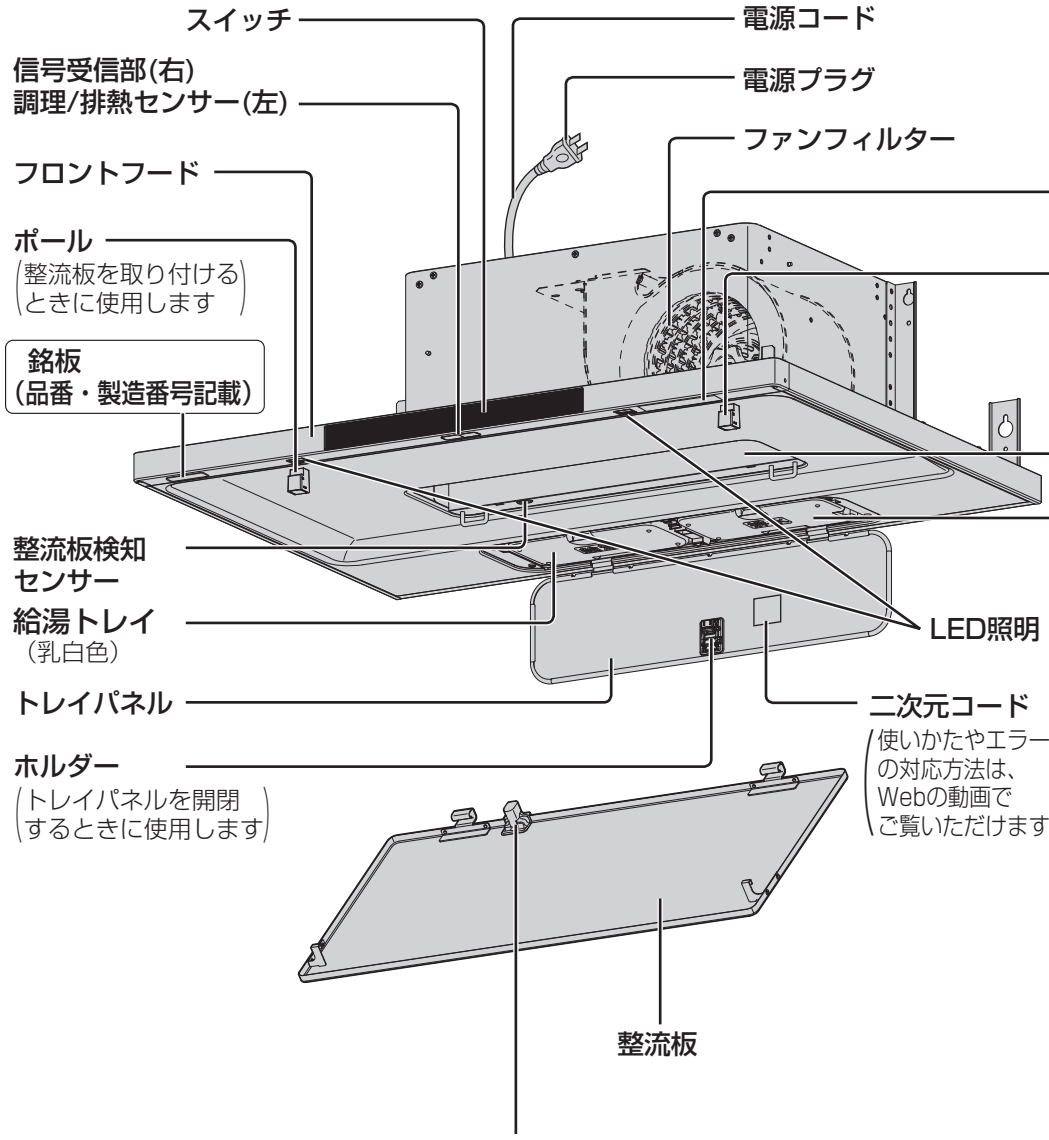
- 「点検」「②」「③」ランプ点灯中に下記の操作で換気運転を停止すると、「ピーピーピーピー」と警告音が鳴って給気清浄フィルター交換時期を音によってもお知らせします。
  ・レンジフード本体の ⏻ を押したとき
  ・連動機能付の調理機器を切にしたとき
  ・別売リモコンの切ボタンを押したとき
  ・別売AiSEGの切ボタンを押したとき

●給気清浄フィルターの交換は、アフターサービス会社にておこないます。（有料）
組み込み部品のため、お客様ご自身での交換はできません。
交換の依頼、費用については、カスタマーセンターにお問い合わせください。

各部の名前とはたらき

ここでは部品の名前や機能について説明しています。詳しくは関連ページをお読みください。

■整流板、トレイパネルを開いた状態



ファンフィルター洗浄時の汚水がたまります。
また、調理によってレンジフード内部に入り込んだ結露水や油がたまる場合があります。
ファンフィルター洗浄中に排水トレイを外すとセンサーがはたらき洗浄が一時停止します。
一時停止中は、洗浄ボタンを点滅してお知らせします。
排水トレイをすぐに元に戻すと洗浄を再開し正常に終了しますが、外した際の警告音が鳴りおわってから戻すと、洗浄終了後にもう1度洗浄作業が必要になります。(「再洗浄」ランプが点灯します)
(☞13～19ページ)

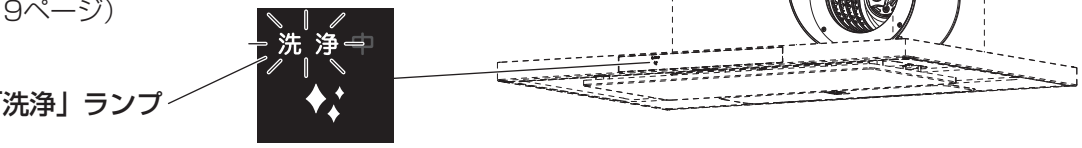
ファンフィルター洗浄中や運転中に、整流板を外すとセンサーがはたらき洗浄や運転が一時停止します。
一時停止中は、運転していたボタンを点滅してお知らせします。
整流板をすぐに元に戻すと洗浄を再開し正常に終了しますが、洗浄中は外した際の警告音が鳴りおわってから戻すと、洗浄終了後にもう1度洗浄作業が必要になります。(「再洗浄」ランプが点灯します)
(☞13～19ページ)

※イラストは壁付けタイプ（90cm幅）を示しています。
サイドフード・センターフードも各部の場所や名前は同じです。

特長

■ファンフィルター自動洗浄機能

「洗浄」ランプで洗浄時期をお知らせ。
簡単操作でファンフィルターを自動で洗浄します。
（☞13～19ページ）



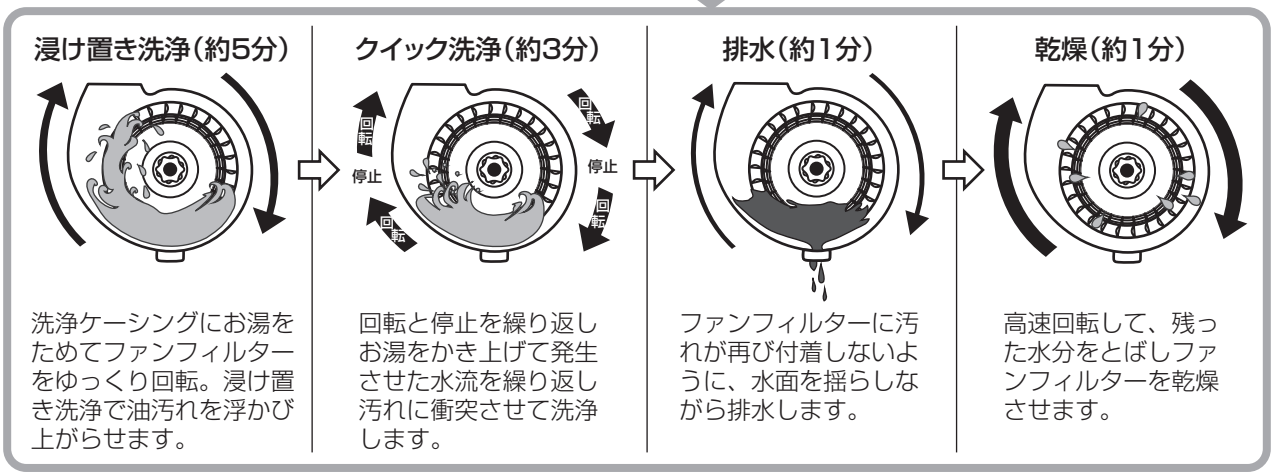
コーティング(親水性塗装)されたファンフィルターをお湯に浸し、繰り返し水流を衝突させることで、ファンフィルター表面に付着した油やホコリなどをボタン1つで自動洗浄できます。
およそ2か月に1回の洗浄で約10年間※1ファンフィルターを取り外さずにラクラクお掃除ができます。
※本体の洗浄ランプが点灯したら、必ずファンフィルターの自動洗浄をおこなってください。
※自動洗浄は換気性能を維持するための機能であり、使用時間とともに汚れは残ります。

※1）10年間は、中運転での換気を1日あたり5時間運転させた場合の換気風量から算出した値です。また、常時換気をご使用の場合は、洗浄回数は月に1回程度となり、ファンフィルターの寿命は通常の約半分となります。油煙の発生量が多い場合、ホコリを吸い込みやすい場合など、調理状況や使用環境によってはファンフィルターの交換時期が短くなる場合があります。ファンフィルターを交換すれば引き続き自動洗浄をご使用できます

●ファンフィルター洗浄工程

「洗浄」ランプが点灯したら、ファンフィルターの洗浄時期です。
以下の手順に従ってファンフィルター洗浄をおこなってください。

1. 給湯トレイにお湯を入れて本体にセット → 2. ✦を押して自動洗浄スタート（約10分） → 3. 排水トレイの汚水を処理



●洗浄時期お知らせ機能

洗エールレンジフードは、換気した風量と経過した時間の両方を計測し、ご使用頻度に応じて適切なタイミングで「洗浄」ランプを点灯させて洗浄時期をお知らせ※2してくれます。また、「洗浄」ランプ点灯後もしばらくの間洗浄をおこなわないと、「洗浄」ランプに加え、「2回洗浄必要」ランプが点灯し、長期間ファンフィルターの洗浄をおこなっていないことをお知らせします。

※2）レンジフードの使用頻度によっておよそ2か月たつ前に「洗浄」ランプが点灯することがあります。
常時換気運転をご使用の場合は、洗浄回数はおよそ月1回となります。



上手な使いかた

「洗浄」ランプが点灯したら早めの洗浄
「洗浄」ランプの点灯は、使用頻度や経過時間を計測した洗浄のタイミングです。
ランプが点灯したら放置せず、なるべく早くファンフィルター洗浄をおこなってください。

油料理などで気になったらいつでも洗浄可能
「洗浄」ランプが点灯していなくても、いつでも洗浄が可能です。
お肉料理や揚げ物料理など、油が気になる料理のあとはボタン1つでカンタンお掃除。

ファンフィルターの洗浄には650 ccのお湯
給湯トレイには、40～45 ℃のお湯を給湯トレイに表示されている目印にあわせて入れてください。
※洗剤は入れないでください。

（ファンフィルター洗浄のしかた ☞ 13～19ページ）

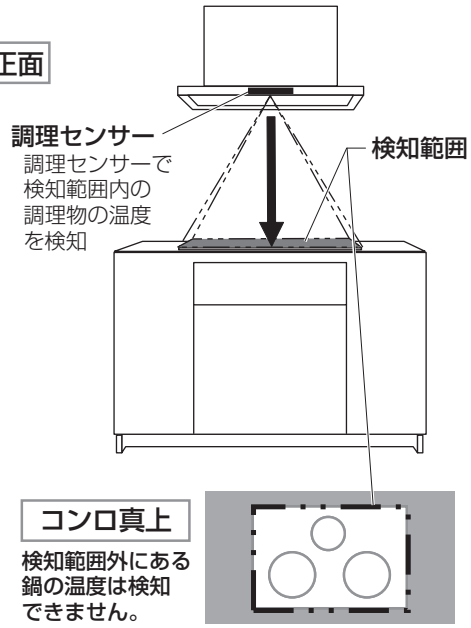
特長（続き）

■省エネナビ運転（「ECO」ランプが点灯します）

調理物の温度変化に合わせて風量を自動で調整します。

（お好みに応じて調理センサーの感度を変更することもできます。初期状態は自動学習モード※1です）（☞ 24ページ）

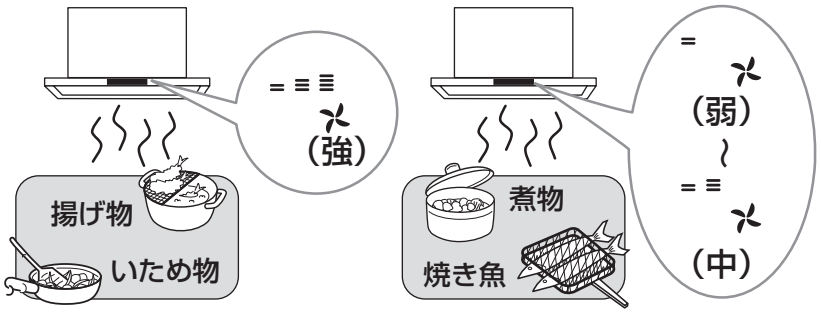
●省エネナビ運転は、使用する調理機器がガスコンロでもIHクッキングヒーターでも対応可能です。



【省エネナビ運転の動作目安】

※下記はIHクッキングヒーター（1口）使用時です。
調理内容、火力により運転風量が変わる場合があります。

※省エネナビ運転は特に使いやすい風量である弱・中・強の3段階の風量を自動調整します。



調理物の温度変化に合わせて風量を自動で調整することで調理時のムダをなくし、省エネ効果が得られます。

・ を押して（「ECO」ランプ点灯）、省エネナビ運転を開始します。

・換気連動機能付の調理機器をご使用の場合、調理機器を運転すると自動的に省エネナビ運転を開始します。

●調理機器（IH・ガス）の種類や次のような場合、風量が「多め」または「少なめ」となることがあります。

「多め」になる　：加熱中の鍋などを移動した

「少なめ」になる：グリルのみの使用で油の多い食材（さんまなど）を焼き一時的に油煙が発生した。
鍋に大量の食材を入れた。

※1　自動学習機能

使うほどお客様に最適な使用感になるように、調理センサーの感度を自動で調整します。

省エネナビ運転の風量が「少ない」または「多い」と感じた場合、 で省エネナビ運転を停止し、風量を切り換えられます。洗エールレンジフードは、省エネナビ運転から切り換えられたことを記憶し、ご使用いただく中で最適な調理センサー感度に自動で調整します。

※調理センサー感度を手動で変更した場合、自動学習モードで調整した感度はリセットされます。
（調理センサーの感度を変える☞24ページ）

■残置運転

運転中に連動機能付の調理機器からのOFF信号を受信すると、風量が段階的に弱くなり、5～15分後に自動停止します。

●残置運転中は「風量」ランプが点滅します。

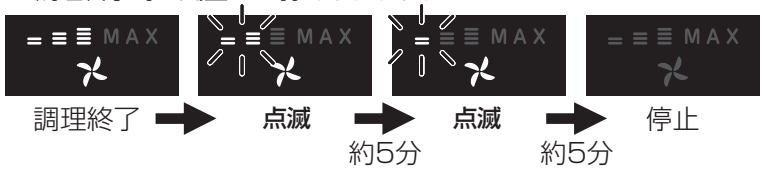
※連動機能付の調理機器からのOFF信号のみを受けて運転します。
レンジフード本体のボタン操作で残置運転への切り換えはできませんのでご注意ください。

※常時換気/排熱運転が設定されているときは残置運転のあと停止せず、常時換気/排熱運転に戻ります。

＜例＞通常運転時（常時換気未設定の場合）

「 ＝≡≡（強）」運転中に連動機能付の調理機器からのOFF信号を受信

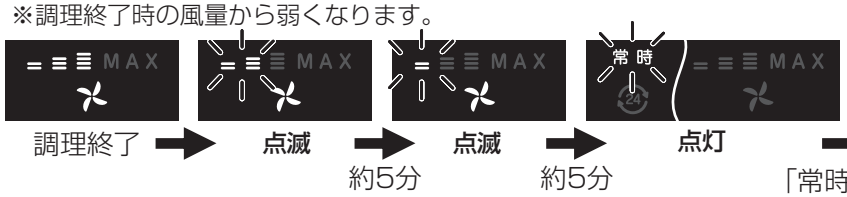
※調理終了時の風量から弱くなります。



＜例＞常時換気運転設定の場合

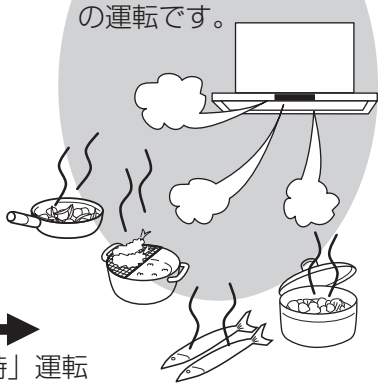
「 ＝≡≡（強）」運転中に連動機能付の調理機器からのOFF信号を受信

※調理終了時の風量から弱くなります。



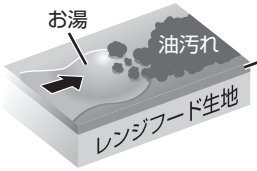
残置運転とは・・・

調理後の部屋に残ったニオイを排気するための運転です。



■お手入れしやすいコーティング

各部品にはコーティング（親水性塗装、はつ油塗装）が施してあります。
油汚れが湯洗いで落とせます。

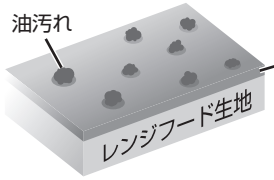


〈自動洗浄部〉

親水性塗装

お湯になじみやすい性質を持ち、洗剤を使わなくても水ふきや湯洗いで油汚れが落とせます。

塗装面と油汚れの間に湯が入り込み、油汚れを分離します。

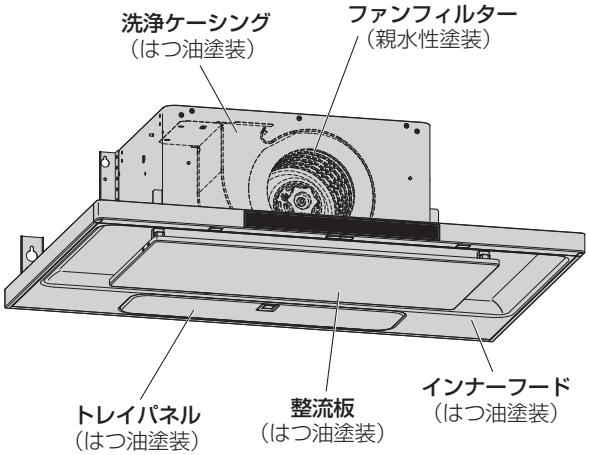


〈自動洗浄部以外〉

はつ油塗装

表面の加工が強力に油や水をはじくため、汚れが広がらず、簡単に落とせます。

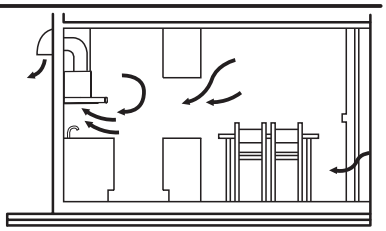
油や水はフッ素皮膜の上に玉状に付着するため、拡散しにくく、はがれやすくなります。



■常時換気運転

調理時の換気のほかに、キッチン全体の換気をします。

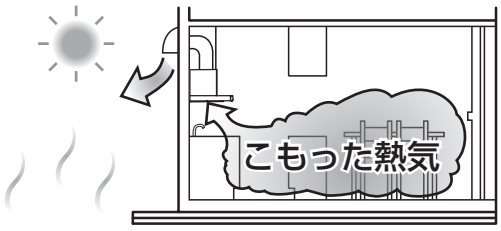
気密性の高い現代の住宅では、汚れた空気や湿気、ニオイなどがたまりやすくなります。
小風量で少しずつ静かに換気する常時換気運転が24時間新鮮な空気を取り入れてくれます。



■排熱運転（夏場のお出掛け時にご使用いただく機能です）

夏場の人がいないときなどに、室内にこもった熱気を室外へ強制的に排出する機能です。

室内の温度を検知し、室内が高温になると自動で排熱運転します。
室内が高温になると、レンジフードが自動で強運転開始し室内の暑い空気を排気します。
室内の暑い空気を排気することで帰宅後のエアコンの負荷を軽減することができます。



■切り忘れ防止タイマー

換気運転や照明のつけっぱなしを防止します。

最後に操作したときから、約5時間後に自動停止します。照明も消灯します。
（ブザー音が「ピー」と鳴ります）
常時換気運転に設定されている場合は、約5時間後に常時換気運転に切り換わります。照明も消灯します。
（ブザー音が「ピッ」と鳴ります）
照明点灯のみの場合でも5時間経過後に切り忘れ防止タイマーが作動し、ブザー音が「ピー」と鳴り消灯します。
再び換気運転するときは、 を押してください。照明を付けるときは、 を押してください。

別売オプションの給気清浄ユニットと専用幕板が設置されているときの機能です。

■給気清浄機能（別売オプション）

微小粒子フィルターで給気による室内に入る花粉などを抑制します。

●微小粒子フィルターは花粉やPM2.5など2 μm以上の粒子の95 %※1以上を集じんします。

※1）対象粒子径2.0 μm以上、風量100 m³/h時、対象フィルターを通過する空気に含まれる粒子数を粒子径別に選定しワンパス（1回通過）捕集効率を当社基準により評価したものです。捕集効率は風量によって異なります。0.5 μm未満の微小粒子状物質については除去の確認ができていません。また空気の有害物質のすべてを除去できるわけではありません。

●給気清浄フィルターの交換時期は、目安として約10年※2です。

※2）換気を1日あたり6時間運転させた場合の換気風量より算出した値です。
また、常時換気をご使用の場合は、給気清浄フィルターの寿命は通常の約4分の1になります。
運転時間によっては給気清浄フィルターの交換時期は変動します。

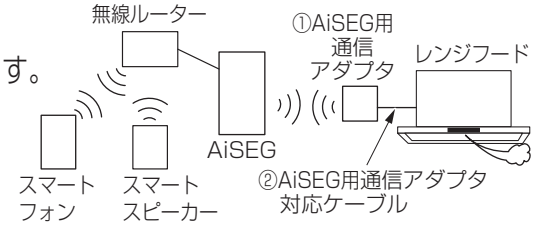
別売のAiSEG（アイセグ）に接続されているときの機能です。

■遠隔操作（別売オプション）

レンジフードの省エネナビ／換気運転の開始と停止を遠隔操作します。

●AiSEGの画面やスマートフォン、スマートスピーカーによってレンジフードを操作することができます。

※使いかたや接続方法の詳細はAiSEGの取扱説明書を参照してください。
※レンジフードでAiSEGとの接続に必要な部材：
①AiSEG用通信アダプタ（MKN7751K）
②AiSEG用通信アダプタ対応ケーブル（MKN7759）



※AiSEG、①、②の部材を購入の際は、パナソニック製品を扱う代理店・販売店にてお求めください。
※AiSEGに関するお問い合わせは、裏表紙の「住宅エネルギーマネジメントシステム　ご相談窓口」までお問い合わせください。

使いかた

基本の操作

1 電源をつける

⏻ を押す

操作できるボタンを表示します。

2 運転内容を選ぶ

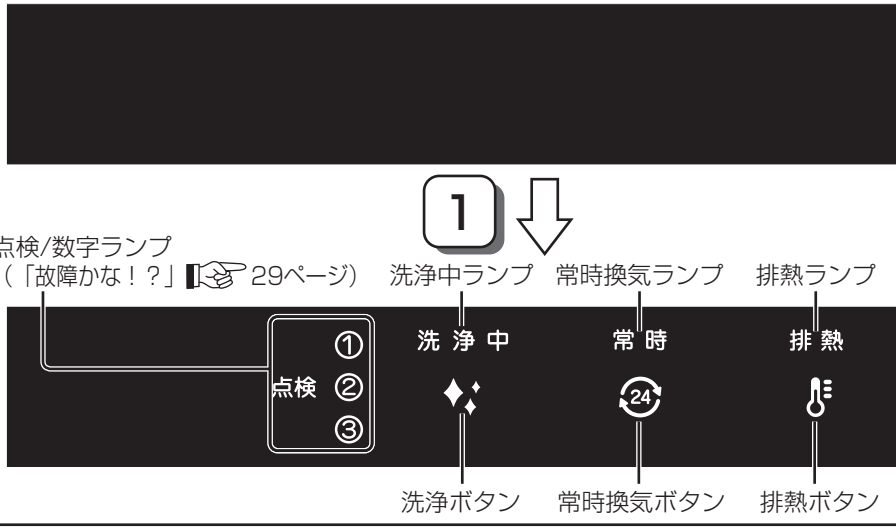
3 電源をけす

運転停止状態で ⏻ を押す

ブラックアウト状態

スタンバイ状態

操作部



2

ファンフィルターを洗浄する

ファンフィルターの洗浄を開始します。

●洗浄時期がくると「洗浄」ランプが点灯します。
（ファンフィルター洗浄方法 13～19ページ）



1 「洗浄」ランプが点灯したら、40～45 ℃のお湯を650 ccセット



2 ✦ で、洗浄スタート ✦ を押す

3 洗浄完了後に汚水を捨て、洗浄終了



●洗浄中に3秒以上長押しすると洗浄を中断し、強制排水します。
（洗浄を途中でやめたいとき 17ページ）

常時換気運転をする

常時換気運転を設定/解除します。

24 を3秒以上長押しする

常時換気運転を開始します。
常時換気運転中は「常時換気」ランプが点灯します。



●常時換気運転時（「常時換気」ランプが点灯中）に ✕ を押すと、通常運転に切り換わり、設定された風量で運転します。
運転終了後は再び常時換気運転に戻ります。
●設定中は ⏻ を押しても「常時換気」ランプは消灯しません。

■ 解除するとき

もう1度ボタンを3秒以上長押しする。
「常時換気」ランプが消灯し、常時換気運転を停止します。

排熱運転を設定する

排熱運転を設定/解除します。

🌡 を3秒以上長押しする

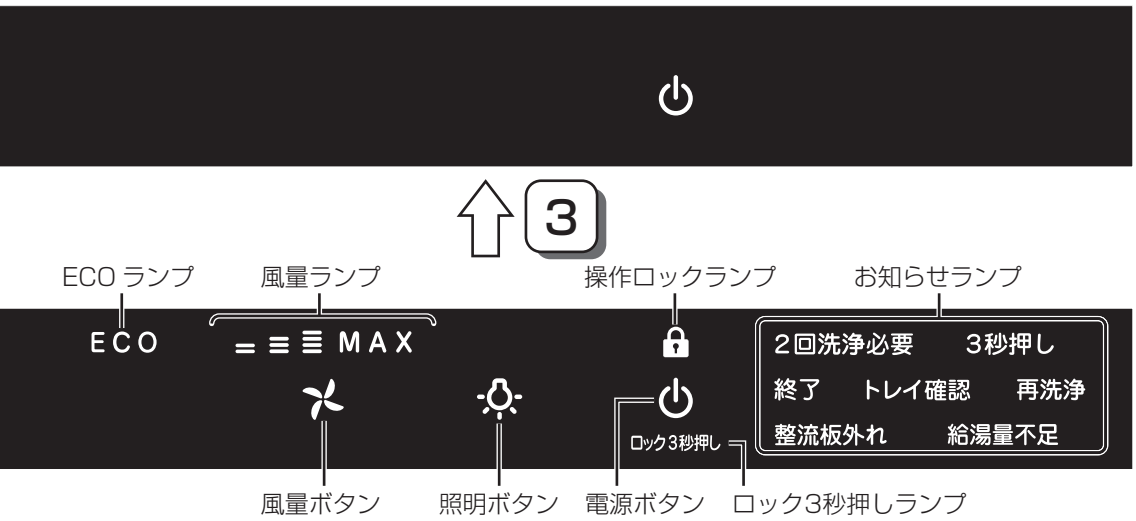


●設定中は設定温度以上になると強運転します。
●設定中は「排熱」ランプが点灯（停止時）/点滅（運転時）します。
●設定中は ⏻ を押しても「排熱」ランプは消灯しません。
●室外が室内より暑いと、暑い空気を取り入れることがあります。
●室温が高くてもレンジフード周囲の温度が低いと運転しない場合があります。
●全館空調の場合、動作条件にいたらず運転しないことがあります。また、長時間の排熱運転が続いた場合には、換気バランスに変化がおこり他の換気システムの換気量に影響を及ぼすことがあります。他の換気システムの換気量への影響がある場合は、排熱運転の使用をお控えください。
●発熱するもの（炊飯器等）の影響で排熱運転を開始する場合があります。
●コンロ使用後の余熱で排熱運転を開始する場合があります。
●排熱運転を設定する際は、室内に空気の取り入れ口があることをご確認ください。
空気の取り入れが不十分な場合、換気性能が低下したり、帰宅時の扉の開閉が重たくなるおそれがあります。

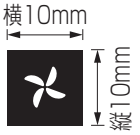
■ 解除するとき

もう1度ボタンを3秒以上長押しする。
「排熱」ランプが消灯し、排熱運転を停止します。

●運転停止状態で30秒経過すると自動的にブラックアウト状態になります。
●ブラックアウト状態にならず、常にボタンを点灯させる設定にすることができます（25ページ）
●下記の操作でもブラックアウト状態から操作できます。
・連動機能付の調理機器を操作したとき　・別売リモコンを操作したとき　・別売AiSEGを操作したとき



説明のため全ての表示を点灯させています。
実際は操作できるボタンが点灯します。
点灯しているボタン部分を押すことができ、縦10mm、横10mmが目安になります。
※ランプ部分は押せません。



省エネナビ／換気運転をする

省エネナビ*1／換気運転を開始します。
（ECO/風量ランプ点灯）

（＊1）調理物の温度変化に合わせて、換気風量を自動で調整する運転です。

を押す

ボタンを押すたびに風量が切り換わります。

（省エネナビ）	ECO	調理状況に合わせて風量を自動で調整したいとき。
（弱）	=	煙の少ないとき。静かに運転したいとき。
（中）	= ≡	通常の運転のとき。
（強）	= ≡ ≣	煙の多いとき。早く換気したいとき。
（MAX）	= ≡ ≣ MAX	特に煙の多いとき。早く換気したいとき。

- **停止状態でボタンを押すと、約５秒後に運転します。**
  これは給気清浄ユニット／同時給排ユニットを使用している場合の給気連動シャッター連動時に室内と外との差圧を少なくするための動作で、故障ではありません。

照明をつける

を押す

押すたびに、照明の ON/OFF が切り換わります。

運転を停止する

すぐに運転を停止します。

を押す

- 常時換気運転、排熱運転に設定されている場合は、すぐに常時換気運転、排熱運転の設定に切り換わります。
- 照明など で停止できない操作は該当ボタンが点滅してお知らせします。照明は照明ボタンのみでON／OFFできます。

【排熱強運転時に停止する場合】
排 熱 が点滅しているとき
を3秒以上長押しする

スイッチ操作をロックする

お手入れ時など、誤ってボタンを押して運転することを防止するための機能です。

① **運転中の場合は を押し、運転を停止し、ロック3秒押し が消灯している場合は を押す。**

② **ロック3秒押し が点灯中に を3秒以上長押しする。**
（「ピピッ」）

ロック中は操作ロックランプが点灯し、各種ボタンが点滅します。



- ロック中は 以外を押しても「ピピピッ」と警告音が鳴り、各種ボタンは作動しません。
- 洗浄運転/換気運転/排熱強運転中は「ロック」できません。
- 照明点灯中は「ロック」できます。
  「ロック」しても照明は点灯し続けます。
  ロック中は照明のON/OFFは切り換えできません。
- 常時換気運転/排熱運転中は「ロック」できます。
  「ロック」すると、運転停止し、スイッチ操作が「ロック」されます。
  「ロック」を解除すると、「ロック」前の常時換気運転/排熱運転を開始します。

■ 解除するとき
もう１度ボタンを３秒以上押す。
操作ロックランプが消灯します。

を3秒以上長押しする（「ピー」）

使いかた（続き）

ワイヤレスリモコンについて

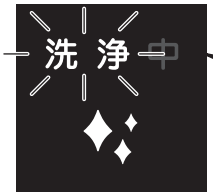
レンジフードの操作は、別売ワイヤレスリモコン（品番：ZZRMC07）でもご使用になれます。
・MAXへの風量切り換えはリモコンの「強」ボタンでおこなってください。
「強」ボタン1回押し　→　風量「〓≡≡（強）」
「強」ボタン2回押し　→　風量「〓≡≡ MAX（MAX）」
「強」ボタン3回押し　→　風量「〓≡≡（強）」に戻る
・省エネナビ運転は「入」ボタンでおこなってください。
・「切」ボタンで照明は消灯できません。照明の点灯／消灯は「照明」ボタンでおこなってください。
（リモコンスイッチでは常時換気運転の設定／解除、排熱運転の設定／解除、スイッチ操作のロック／ロック解除、ファンフィルター洗浄はできません。また、「タイマー」ボタンはご使用になれません）

連動機能付の調理機器と組み合わせてご使用になる場合について

●調理機器で加熱を開始すると、自動的にレンジフードは省エネナビ運転をおこないます。（☞ 8ページ）
連動機能付の調理機器との組み合わせによっては、調理機器からの信号により省エネナビ運転が解除される場合があります。省エネナビ運転を優先する場合は、調理機器のレンジフード風量切換を解除してください。
●調理機器を切にしたとき、レンジフードは残置運転をおこないます。（☞ 8ページ）
照明や常時換気運転や排熱運転は元のままの状態です。
※調理機器との連動モード設定を変更できます。（☞ 24ページ）
※対応の調理機器についてはクリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。（裏表紙に記載）

ファンフィルターの洗浄

「洗浄」ランプが点灯したら、ファンフィルターの洗浄時期です。
以下の手順に従ってファンフィルター洗浄をおこなってください。



「洗浄」ランプ

洗浄時期が来ると、「洗浄」ランプが点灯します。
※「洗浄」ランプ点灯中に下記の操作をおこなうと
「ピー(3回繰り返し)」または「ピーピー(3回繰り返し)」と警告音が鳴り「洗浄」ランプが点滅して洗浄時期が来たことをお知らせします。
(警告音は「洗浄」ランプが点灯したあとの経過時間によって段階的に増えていきます)
- レンジフード本体の ⏻ を押したとき
- 連動機能付の調理機器を切にしたとき
- 別売リモコンの切ボタンを押したとき
- 別売AiSEGの切ボタンを押したとき

⚠ 注意

禁止

パネルやファンフィルターは外さない
水漏れの原因になります。

「洗浄」ランプが点灯したら、放置せずなるべく早く洗浄をおこなう
ファンフィルターの寿命を短くしたり、排気性能の低下につながるおそれがあります。

●洗浄時期お知らせ機能

洗エールレンジフードは、換気した風量と経過した時間の両方を計測し、ご使用頻度に応じて適切なタイミングで「洗浄」ランプを点灯させて洗浄時期をお知らせ※2してくれます。また、「洗浄」ランプ点灯後もしばらくの間洗浄をおこなわないと、「洗浄」ランプに加え、「2回洗浄必要」ランプが点灯し、長期間ファンフィルターの洗浄をおこなっていないことをお知らせします。

※2) レンジフードの使用頻度によっておよそ2か月たつ前に「洗浄」ランプが点灯することがあります。
常時換気運転をご使用の場合は、洗浄回数はおよそ月1回となります。

洗浄ランプ(通常時)	洗 浄	お知らせランプ(長期間洗浄をしていないとき)	2回洗浄必要 ※この場合、続けて2回洗浄をおこなう必要があります。(☞19ページ)

お願い

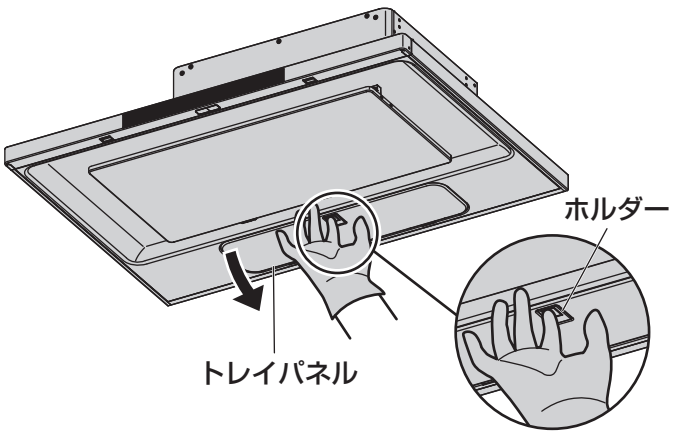
- ファンフィルター洗浄を始める前に必ず換気運転を停止してください。
  換気運転を停止しないと、ファンフィルター洗浄ができません。
  また、スイッチ操作がロックされていたり、整流板または排水トレイが外れているとファンフィルター洗浄ができません。
  (スイッチ操作をロック/解除する ☞ 11ページ)
- ファンフィルターは取り外して手洗いすることはできません。水漏れの原因になるため絶対に取り外さないでください。
- ファンフィルター洗浄をする際は、調理機器を停止し、熱い状態でないことを確認してから、調理機器の排気口を覆うように乾いた布などを添えてください。
- 長期間不在となる場合は、不在になる前に必ずファンフィルター洗浄をおこなってください。

1. トレイパネルを開ける

トレイパネルのホルダーに軽く指を掛け、
そのまま下に引き下げ、トレイパネルを開ける。

お願い

- トレイパネルはゆっくり開けてください。
  トレイパネルに衝撃をあたえるような開け方や荷重をかけると、破損や変形の原因になります。

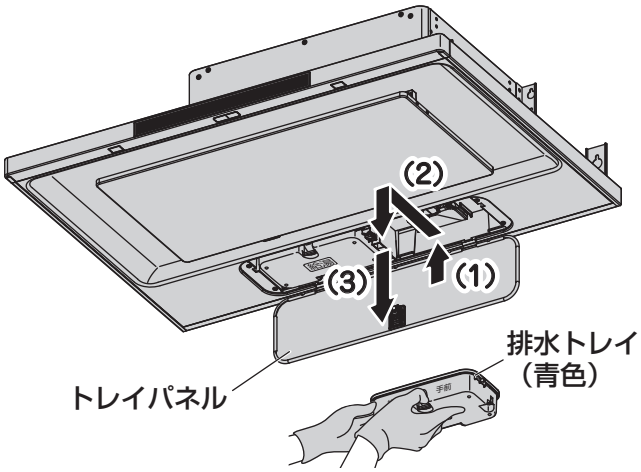


ファンフィルターの洗浄（続き）

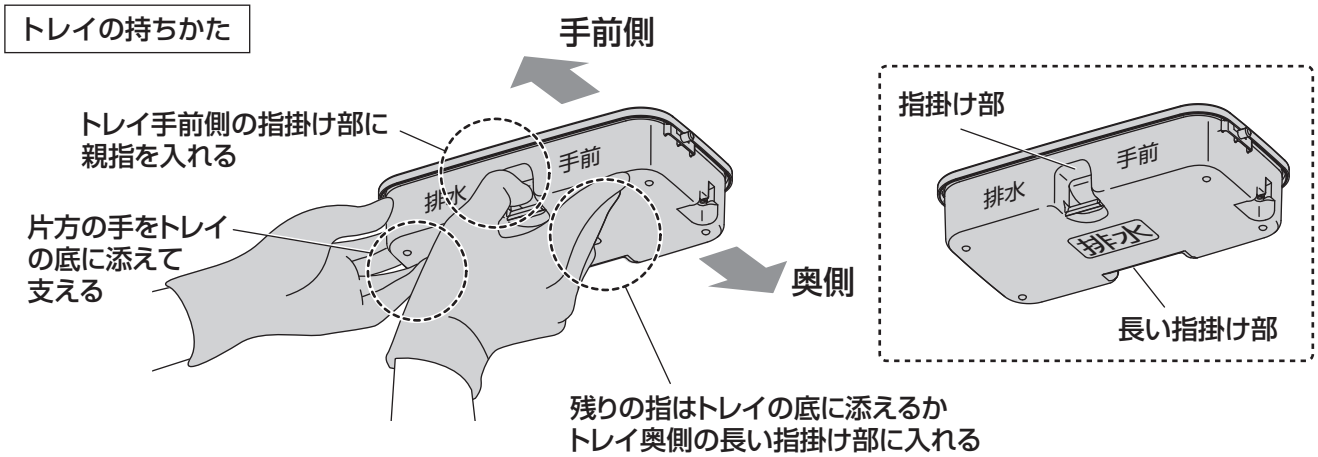
2. 排水トレイ（青色）を空の状態にする

①排水トレイをしっかり持ち、上に押し上げながら、手前に引いて降ろす。
※排水トレイの中には結露水や油がたまっている場合があるため、必ず両手を添えて持ち運んでください。
※「ピーピーピーピー」という音が鳴って、「トレイ確認」ランプが点灯し、排水トレイが外れたことをお知らせします。

トレイ確認

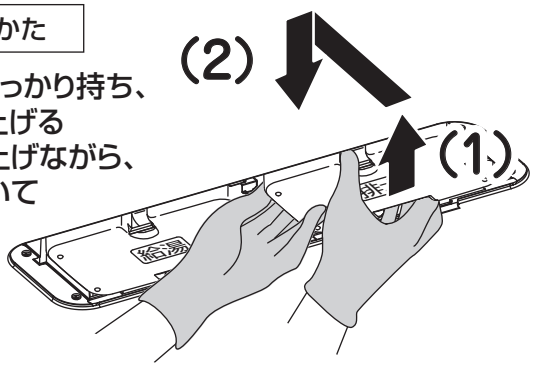


トレイの持ちかた

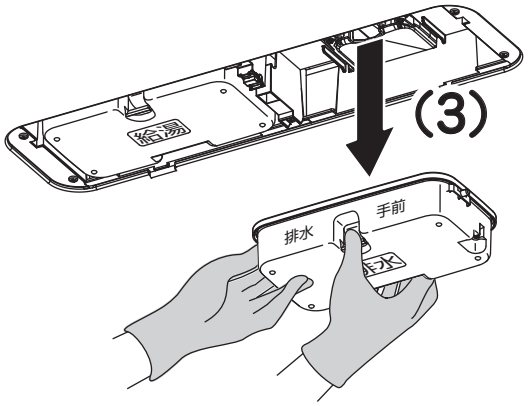


トレイの外しかた

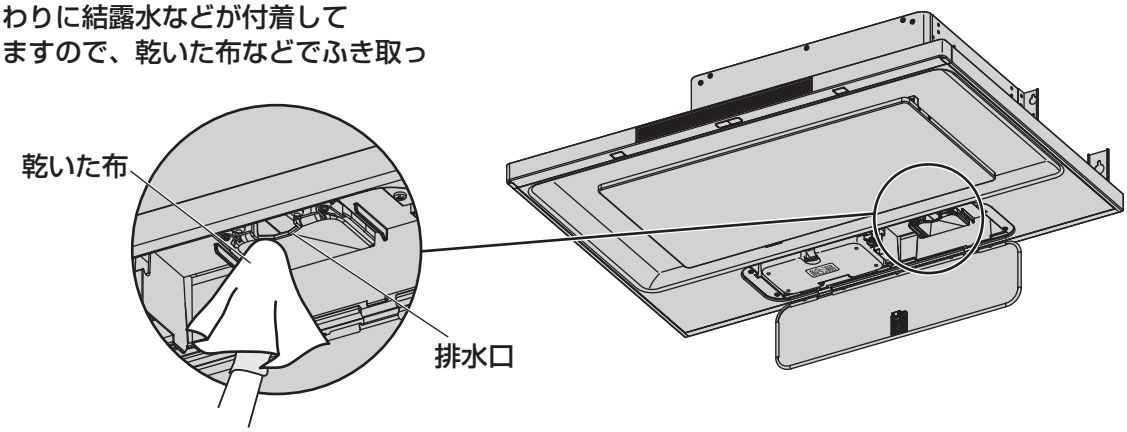
(1)トレイをしっかり持ち、上へ押し上げる
(2)上に押し上げながら、手前に引いて



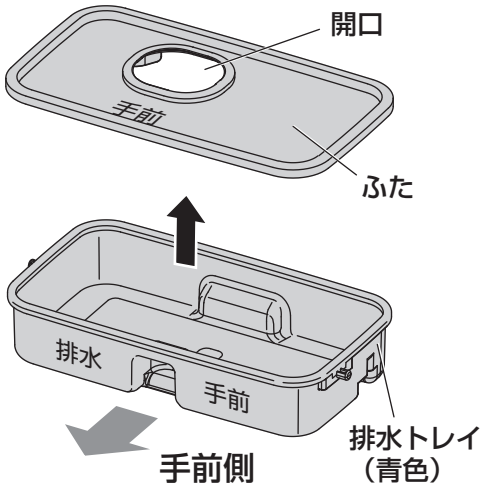
(3)トレイを傾けずに降ろす



②本体の排水口まわりに結露水などが付着していることがありますので、乾いた布などでふき取ってください。



③排水トレイの中に結露水などがたまっている場合は、ふたを外し水を捨て、排水トレイを空の状態にしてください。
（排水トレイの汚水を捨てる ☞18～19ページ）

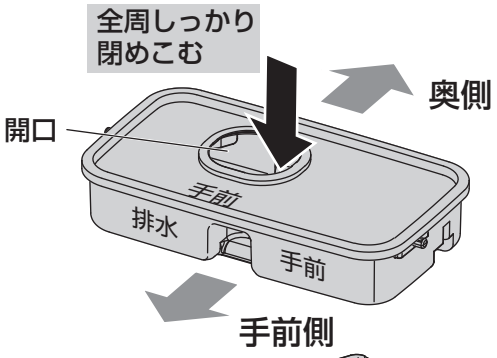


> **⚠ 注意**
>
> **ファンフィルター洗浄を始める前に必ず排水トレイを空にする**
>
> 排水があふれ、水漏れするおそれがあります。

④ふたを排水トレイに正しく取り付ける。
（正面から見て開口は左側となります）

お願い

・ふたの全周がしっかり閉めこまれていることを確認してください。ふたが浮いていると本体に取り付きにくくなる場合があります。

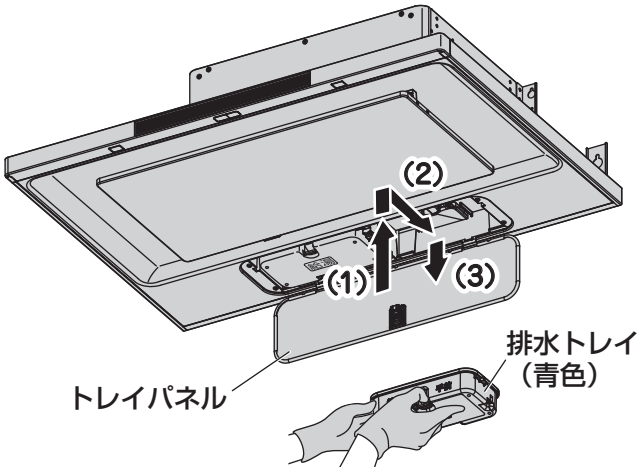


> **⚠ 注意**
>
> **排水トレイ、給湯トレイのふたを全周しっかり閉めこむ**
>
> 水漏れの原因になります。

⑤排水トレイを上に押し上げながら、奥に押して再び取り付ける。
※「ピッ」という音が鳴って、「トレイ確認」ランプが消灯し、排水トレイが取り付いたことをお知らせします。

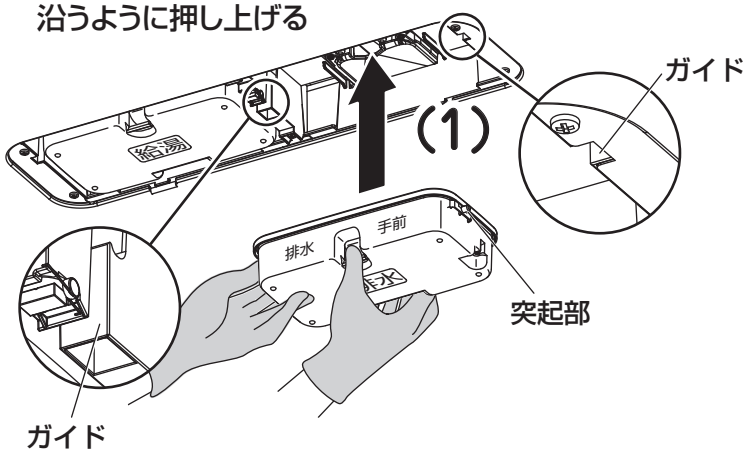
お願い

・排水トレイは正しく取り付けてください。
正しく取り付いていないと、「トレイ確認」ランプが消灯せず、ファンフィルター洗浄が開始できません。

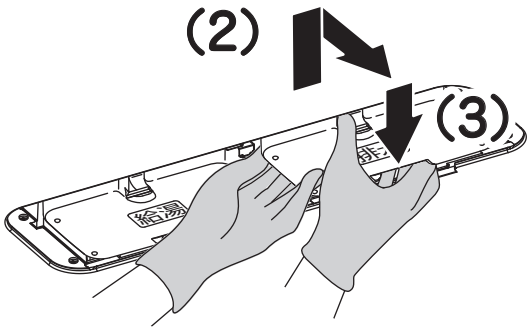


トレイの取り付けかた

(1)トレイを傾けずにトレイ側面の突起部がフード本体のガイドに沿うように押し上げる

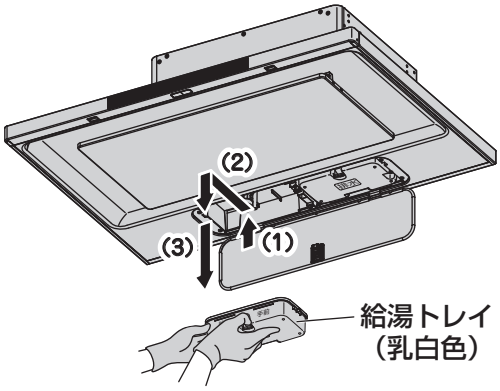


(2)上に押し上げながら奥に押す
(3)取り付いたことを確認して手を離す



ファンフィルターの洗浄（続き）

3. 給湯トレイ（乳白色）にお湯を入れる



①給湯トレイを上に押し上げながら、手前に引いて降ろす。

※給湯トレイの持ちかた/取り外しかた／取り付けかたは、排水トレイと同じです。
（排水トレイを空の状態にする ☞ 14～15ページ）

②給湯トレイを清水で1度すすいでから、ふたを閉めて、給湯トレイに40～45 ℃のお湯650 ccを入れる。

（温度が低いと十分な洗浄効果が得られなかったり、ファンフィルターの寿命が短くなるおそれがあります）

お願い

・ふたの全周がしっかり閉めこまれていることを確認してください。ふたが浮いていると本体に取り付きにくくなる場合があります。

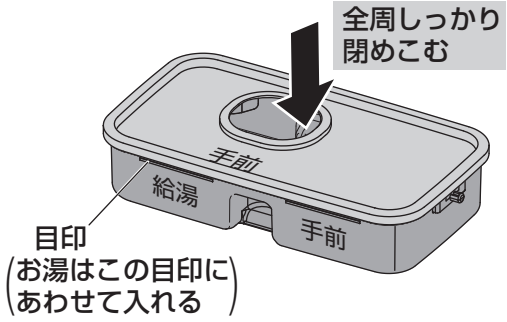
・お湯は給湯トレイの目印にあわせて入れてください。規定量のお湯が入っていないと「ピーピーピーピー」と音が鳴り、ファンフィルターが洗浄できません。（「給湯量不足」ランプが点灯します）

・給湯トレイには、洗浄時にくみ取りきれなかった残水が少量残っている場合があります。その場合、お湯を入れる前にすすいでください。

・下記の「給湯トレイに入れるお湯について」をよくお読みください。

・1回の洗浄には1回の給湯としてください。洗浄途中で再給湯すると、排水トレイから汚水があふれることがあります。

・給湯トレイのお手入れに洗剤を使用した場合は水洗いして洗剤残りがないようにしてください。



給湯トレイに入れるお湯について

必ず、水道水（飲用）を温めたお湯（40～45 ℃）をお使いください。
（一般に塩素処理され、雑菌が繁殖しにくいため）

次の水は使わないでください。

✕ 洗剤、芳香剤、化学薬品（重曹、クエン酸、セスキ炭酸ソーダ等）を入れた水など
（プラスチック部品の変形や故障の原因になります）

✕ 45 ℃以上のお湯

✕ お風呂の残り湯、温泉水、井戸水、浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、など
（カビや雑菌が繁殖する原因になるおそれがあるため）

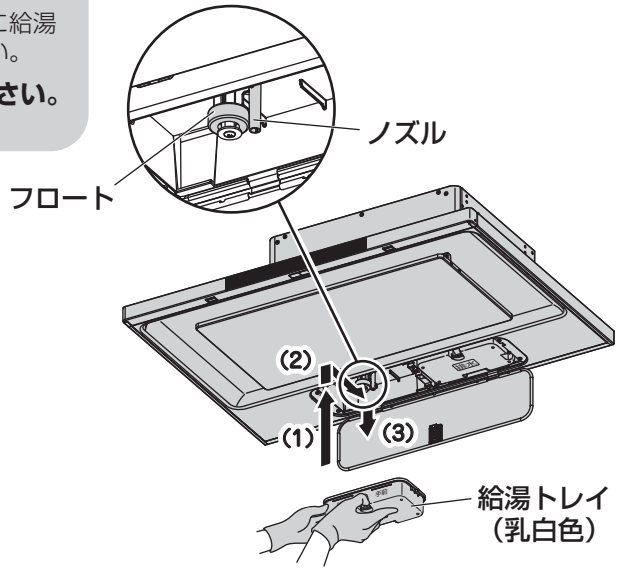
お願い やむを得ず井戸水（飲用）を使うときは、洗浄後に給湯トレイに残る水分を捨て、よく乾燥させてください。

お湯の中にホコリや異物がないことを必ず確認してください。
（故障の原因になります）

⚠ 注意

禁止	**給湯トレイや本体に洗剤を入れて洗浄をしない** 泡があふれ、水漏れするおそれがあります。
	排水トレイ、給湯トレイのふたを全周しっかり閉めこむ 水漏れの原因になります。
	給湯トレイのお湯の中にホコリや異物がないことを確認する 故障の原因になります。

③給湯トレイを落とさないようにしっかりと持って、上に押し上げながら、奥に押して取り付ける。



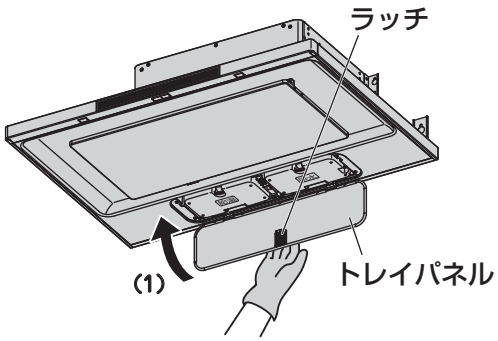
お願い

・給湯トレイは正しく取り付けてください。

・ノズルやフロートに物をぶつけたり、手を触れないでください。故障の原因になります。

4. トレイパネルを閉める

①トレイパネルをゆっくり押し上げ、トレイパネルを閉める。
※トレイパネルは必ず閉めてください。
トレイパネルが確実に固定されていないと振動や衝撃で不意に開くことがあります。
※トレイパネルに衝撃をあたえるような閉めかたをすると、破損や変形の原因になります。



5. ファンフィルター洗浄をする（約10分間）

① ボタンを押す。（「洗浄中」ランプが点灯します）
※洗浄運転中は、 以外のボタンを押しても「ピピピッ」と警告音が鳴るだけで操作できません。
また、連動機能付の調理機器を操作しても換気運転はおこないません。
※洗浄中は水の音やポンプの給水音がしますが、異常ではありません。



お願い

・「給湯量不足」ランプが点灯し、「ピーピーピーピー」と音が鳴る場合、給湯トレイのお湯不足でファンフィルターが洗浄できません。給湯トレイの目印にあわせてお湯を給湯してください。
・換気運転をしていたり、スイッチ操作がロックされていたり、整流板や排水トレイが外れているとファンフィルターが洗浄できません。換気運転を停止、スイッチ操作ロックを解除してください。また、整流板と排水トレイを取り付けてください。
（整流板が外れていると「整流板外れ」ランプが点灯し、排水トレイが外れていると「トレイ確認」ランプが点灯します）
・ファンフィルター洗浄中は整流板や排水トレイなどの部品を外さないでください。整流板や排水トレイを外すとセンサーがはたらき、洗浄が一時停止し、約30秒間「ピーピー…」と警告音が鳴ります。一時停止中は、洗浄ボタンを点滅してお知らせします。音が鳴っている間に元に戻すと洗浄を再開し、正常に終了しますが、音が鳴りおわってから戻すと、洗浄終了後に「終了」「トレイ確認」と「再洗浄」ランプが点灯し、もう１度洗浄作業が必要になります。この場合は再度ファンフィルター洗浄をおこなってください。
（☞13～19ページ）

②「ピピーピピーピピーピピー」と音が鳴り、「終了」と「トレイ確認」ランプが点灯し洗浄終了です。
※洗浄により、少量の水はねがパネルや整流板の内側へ付着することがありますが、気になる場合は、洗浄終了後に乾いた布などでふき取ってください。
※排水トレイを取り外すと「終了」ランプは消灯します。
（☞ 18～19ページ）



洗浄を途中でやめたいとき

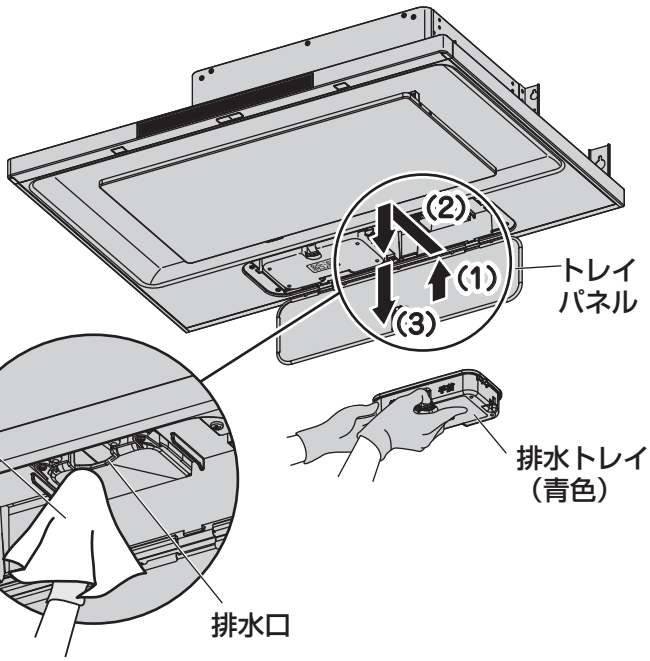
①ファンフィルター洗浄中に、 を3秒以上長押しする。
※洗浄が中断し、強制排水をします。（強制排水された水は排水トレイにたまります）
※強制排水中に整流板や排水トレイを外すとセンサーがはたらき一時停止します。整流板や排水トレイを元に戻すと再開します。
※ポンプを利用し水を送るため「ゴー」という音がします。
②約2分後に「ピーピーピー」のブザー音確認後、排水トレイの水を捨てる。
※排水を処理しないと再洗浄できません。（排水トレイの水の捨てかた ☞ 18～19ページ参照）
※洗浄を途中でやめたため、再度洗浄が必要です。（「終了」「トレイ確認」と「再洗浄」ランプが点灯します）

ファンフィルターの洗浄（続き）

6. 排水トレイ（青色）の汚水を捨てる

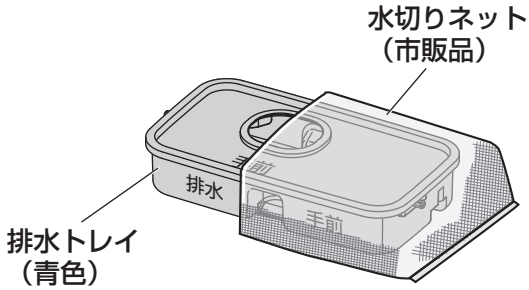
①トレイパネルを開けて、排水トレイをしっかり持ち、上に押し上げながら、汚水がこぼれないように手前に引いて降ろす。
※水のたまった排水トレイは、必ず両手を添えて持ち運んでください。
※「ピーピーピーピー」という音が鳴って、「終了」ランプが消灯し、「トレイ確認」ランプは点灯し続けて、排水トレイが外れたことをお知らせします。

トレイ確認

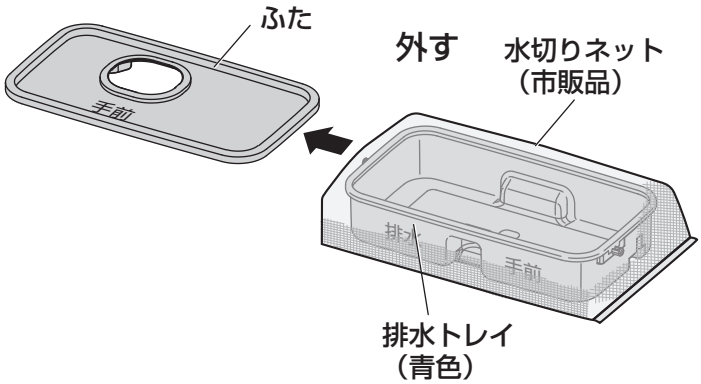


②本体の排水口まわりに汚水などが付着していることがありますので、乾いた布などでふき取ってください。

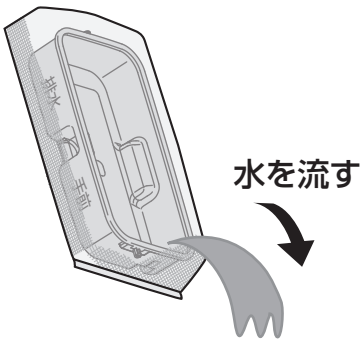
③市販の水切りネットをつける。
（排水口詰まり防止と環境保護のため）



④ふたを外し、排水トレイの汚水を流す。



⑤汚れのついた水切りネットを排水トレイから取り外して廃棄する。
※使用済み水切りネットの廃棄方法は、各市町村の処理方法に従ってください。



⚠ 注意

排水トレイは必ず空にして元の位置に戻す

排水があふれ、水漏れするおそれがあります。

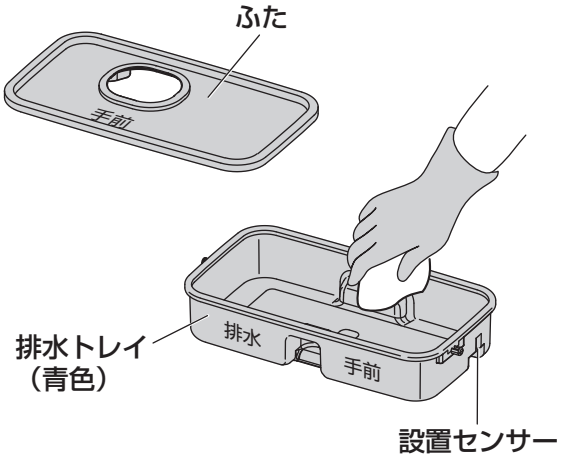
⑥**取り外したふたと排水トレイは、スポンジなどで水洗いし、汚れを落とす。** 食器洗い乾燥機でも洗浄可能

※汚れがとれにくい場合は台所用中性洗剤を使って汚れをとり、水洗いしてください。

※排水トレイ、給湯トレイ、ふたを食器洗い乾燥機で洗う場合は、ふたを外して洗浄してください。
また、汚れによっては食器洗い乾燥機で汚れが落ちきらない場合があります。その際は手洗いと併用してください。

お願い

・排水トレイのお手入れ後、水切りをして乾燥させてから取り付けてください。
※トレイの中にホコリや異物（ゴミ）が入らないように注意してください。
・金属製のタワシなどは、使わないでください。
・排水トレイには正しく本体に取り付いているか検知する設置センサーが付いています。この設置センサーは絶対に外さないでください。故障の原因になります。



7. 排水トレイ（青色）を取り付ける

15ページを参照し、レンジフードに排水トレイを取り付けてください。

※「ピッ」という音が鳴って、「トレイ確認」ランプが消灯し、排水トレイが取り付いたことをお知らせします。

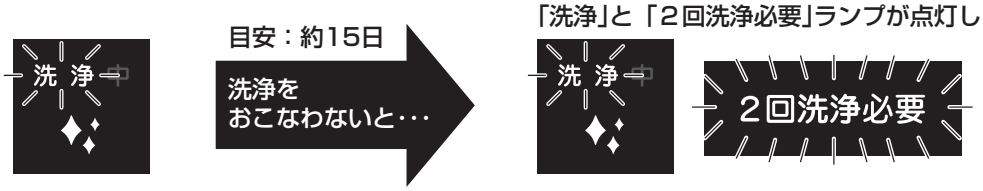
8. トレイパネルを閉める

17ページを参照し、トレイパネルを閉めてください。

お願い

・調理機器の排気口を覆っている乾いた布などを取ってください。

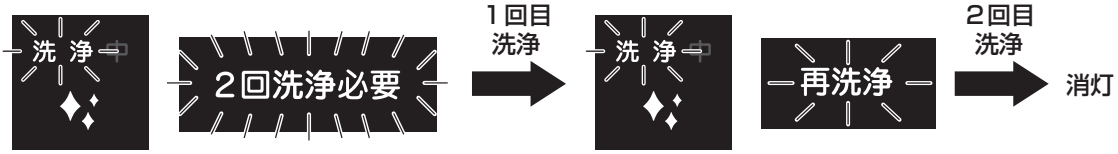
長期間洗浄をしていないとき
（「洗浄」ランプが点灯したあともファンフィルター洗浄をしばらくおこなわなかったとき）



※「洗浄」と「2回洗浄必要」ランプ点灯中に下記の操作で換気運転を停止すると、「ピーピー（3回繰り返し）」と警告音が鳴って長期間ファンフィルター洗浄をしていないことをお知らせします。
（警告音は「洗浄」ランプが点灯したあとの経過時間によって段階的に増えていきます）
・レンジフード本体の ⏻ を押したとき
・連動機能付の調理機器を切にしたとき
・別売リモコンの切ボタンを押したとき
・別売AiSEGの切ボタンを押したとき

対処方法

長期間ファンフィルター洗浄をしていないときは、2回ファンフィルター洗浄をしてください。



※2回目の洗浄を始める際は、必ず事前に1回目の洗浄による排水を捨ててからおこなってください。
排水があふれ、水漏れするおそれがあります。

本体のお手入れ

目安：2 か月に 1 回程度

⚠ 警告

分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しない（パネル、ファンフィルターなどの本体部品）

火災・感電・けがの原因になります。
●修理はお買い上げの販売店またはクリナップカスタマーセンター（裏表紙に記載）へご相談ください。

水ぬれ禁止

水につけたり、水や洗剤をかけたりしない（モーター、スイッチなどの電気部品）

ショートや感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグや分電盤のブレーカーはぬれ手で抜き差し、切／入しない

感電のおそれがあります。

⚠ 注意

禁止

パネルやファンフィルターは外さない

水漏れの原因になります。

お手入れの際は、厚手のゴム手袋を使用する

板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをするおそれがあります。

お手入れの際は、換気運転を停止し、スイッチ操作をロックする
（スイッチ操作をロック/解除する ☞ 11ページ）

けがをするおそれがあります。

部品は確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

お願い

・油汚れを放置すると、油が垂れる場合があります。また、期間が長くなると汚れが落ちにくくなったり、部品が外れなくなったりする場合があります。
・お手入れの際は調理をやめ、鍋等はレンジフードの下に置かないようにしてください。
・高いところでの作業となりますので足場には十分お気を付けください。
・整流板や本体には汚れのとれやすいコーティングをしています。（☞ 9ページ）コーティングの変質、変色、はがれ防止のため右のものは使わないでください。
・アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんなど、台所用中性洗剤以外のご使用はおやめください。
・調理直後にはフードが熱くなっている場合がありますので、その場合は十分温度が下がってからお手入れしてください。
・お手入れの際、熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形する原因になります。
・長期間不在となる場合は、不在になる前に必ずファンフィルター洗浄をおこなってください。
・常時換気をご使用の場合は、ファンフィルターの洗浄時期に合わせ、１か月に１回程度のお手入れをしてください。

下記のようなものなどは使用しないでください。



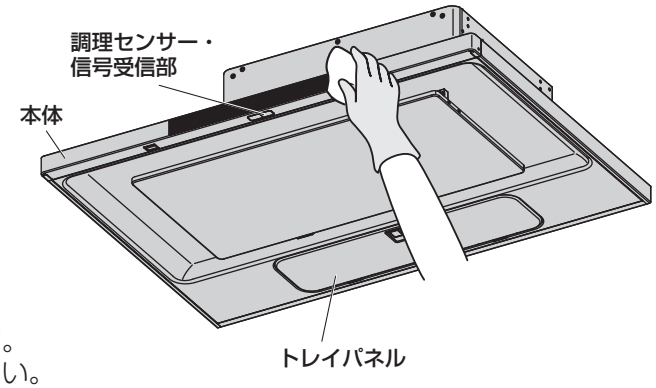
1. 運転を停止し、スイッチ操作をロックする



運転を停止させ、スイッチ操作をロックしてください。
（スイッチ操作をロック／解除する ☞ 11ページ）

2. 本体・トレイパネル・調理センサー・信号受信部の汚れをとる

①水分を含ませたスポンジ、柔らかい布などで表面の汚れをふき取る。
※がんこな汚れの場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸したスポンジ、柔らかい布などでふき取ったあと、洗剤が残らないように清水を湿らせた柔らかい布などでよくふき取ってください。

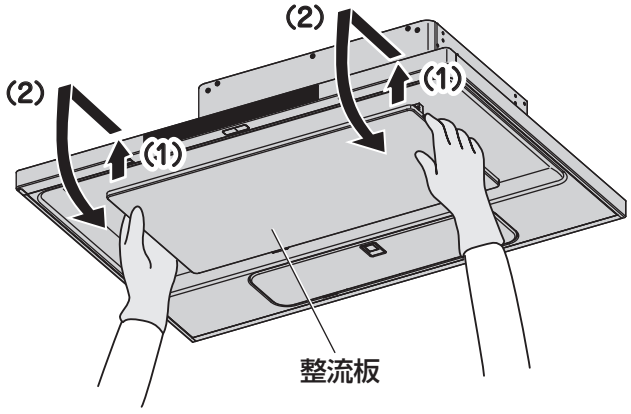


お願い

・油汚れを放置すると、調理センサーの感度や受信性能が低下します。
・油汚れを放置すると、油が垂れる場合があります。汚れが気になりましたら都度お手入れしてください。
・整流板は外してお手入れしてください。本体に取り付けたまま汚れをふき取ると、整流板の手前が外れることがあります。

3. 整流板を外す

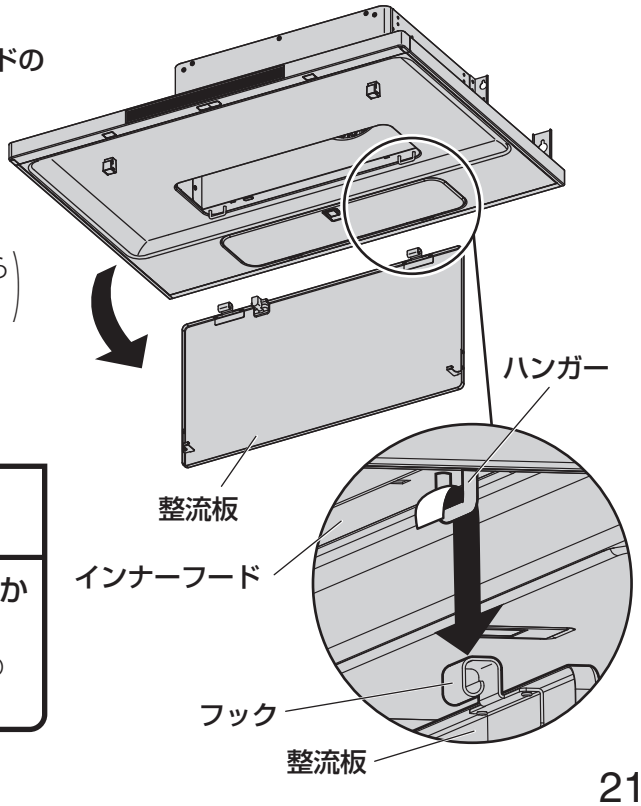
①整流板を両手で持ち、上に押し上げてから、手前に引いて少し下げる。



※油や結露水が流れ出ることがありますので、整流板を下まで下げる前に、内側を確認し、たまった油や結露水は乾いた布などでふき取ってください。

②整流板を下まで下げ、 整流板のフックをインナーフードのハンガーから取り外す。
※整流板を外すと「ピーピーピーピー」と音が鳴り、「整流板外れ」ランプが点灯します。
整流板が再び取り付けられるまで換気運転、ファンフィルター洗浄はできず、ランプは点灯し続けます。
（ブレーカーを切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたときは、お知らせしません）





⚠ 注意

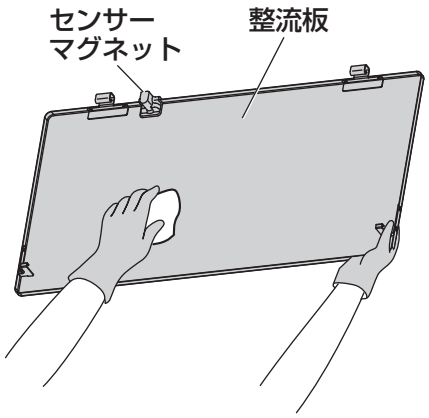
整流板を落とさないように両手でしっかり支える
落下によりけがをしたり、部品のキズや変形の原因になります。

本体のお手入れ（続き）　目安：2 か月に 1 回程度

4. 整流板の汚れをとる

①整流板の表面、内面および端部は水分を含ませたスポンジ、柔らかい布などで汚れをふき取る。

※がんこな汚れの場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸したスポンジ、柔らかい布などでふき取ったあと、洗剤や水滴が残らないように清水で湿らせた柔らかい布などでよくふき取ってください。



お願い

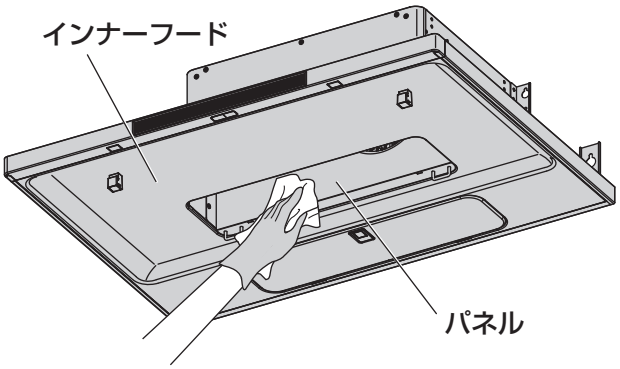
センサーマグネットは整流板が正しく本体に取り付けられたかどうかを検知するセンサーの役目をはたしています。

・センサーマグネットは絶対に外さないでください。
　故障の原因になります。
・センサーマグネットに強い衝撃をあたえないでください。
　故障の原因になります。
・外した整流板は平らな面でお手入れしてください。
　変形・キズの原因になります。
・油汚れを放置すると、油が垂れる場合があります。
　汚れが気になりましたら都度お手入れしてください。

5. フード本体内部の汚れをとる

①ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸したスポンジや柔らかい布などでフード本体内部のパネルやインナーフードの汚れをふき取る。

②ふき取ったあとは、清水を湿らせた柔らかい布などで洗剤が残らないようによくふき取り、乾いた布などで水分をふき取る。

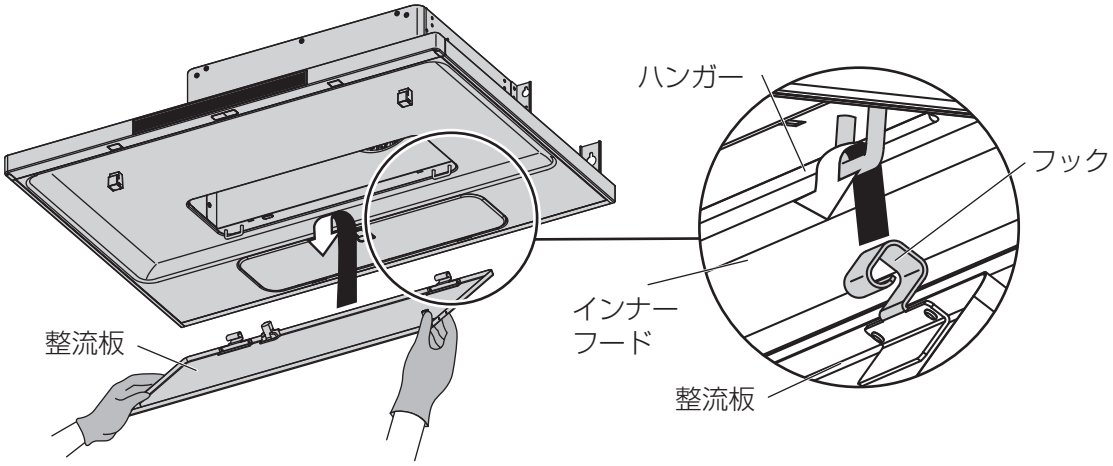


お願い

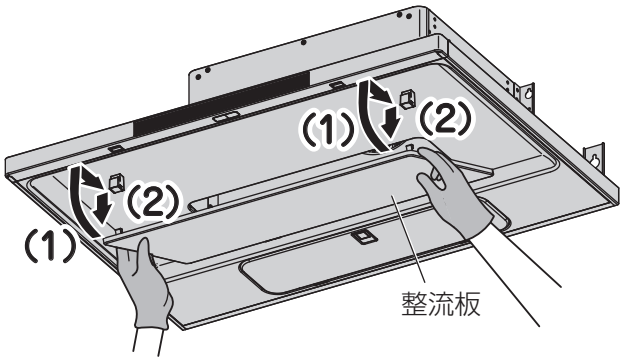
・油汚れを放置すると、油が垂れる場合があります。
　汚れが気になりましたら都度お手入れしてください。

6. 整流板を取り付ける

①整流板を両手で持ち、整流板のフックを
インナーフードのハンガーに奥から掛ける。

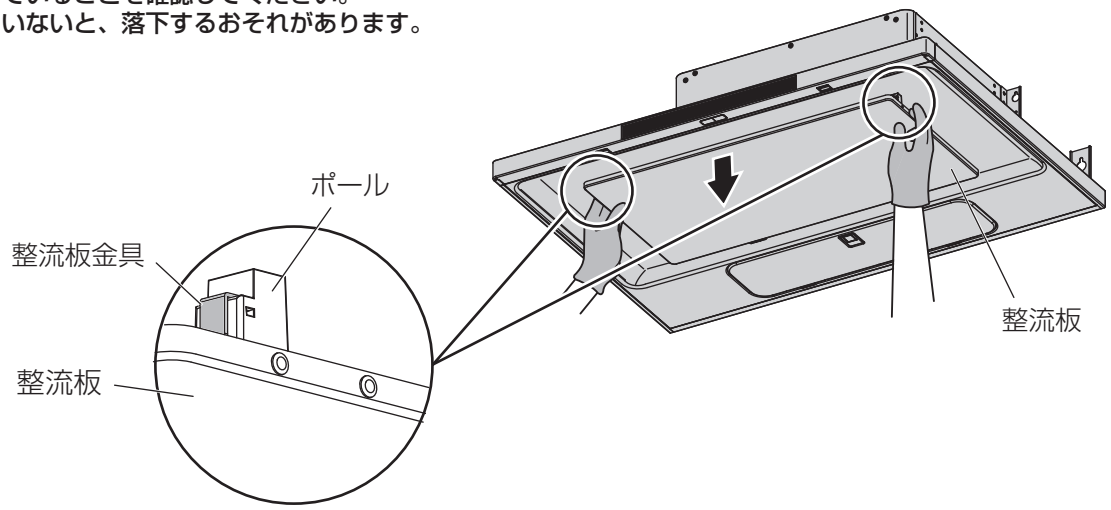


②整流板を両手でおこして、奥まで押す。



お願い

●整流板を軽く下に引き、整流板金具がポールに確実に
引っ掛かっていることを確認してください。
固定されていないと、落下するおそれがあります。



7. スイッチ操作のロックを解除する

スイッチ操作のロックを解除してください。
（スイッチ操作をロック／解除する ☞ 11ページ）



もっと知りたいとき

スタンバイ状態にて各種設定を変更することができます。
設定を変更すると電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも設定はそのまま記憶されているため、再度セットする必要はありません。1度セットすれば記憶されます。

調理センサーの感度を変える

省エネナビ運転の調理センサーの感度モードを調節することができます。

省エネナビ運転時に風量が「上がりやすく」または「上がりにくく」したいと感じたときに、下記に従い設定をおこなってください。初期状態では、自動学習モードに設定されています。

① と を同時に3秒以上押し続けると、
「風量」ランプが ┌→「＝≡」→「＝≡≡」→「＝」→「MAX」┐
と自動で切り換わります。
（「風量」ランプ切り換わり時に「ピッ」と音がします）



②「風量」ランプが合わせたい感度モードのランプに移ったらボタンを放す。「ピー」と音がして、設定された「風量」ランプが2秒間点灯します。（設定終了）

※常時換気運転や排熱運転が設定されている場合は、設定を変えることができません。
（常時換気運転、排熱運転を設定／解除する 10ページ）

感度モード	「風量」ランプ	内　容
自動学習モード	MAX	最適な感度に学習させたいとき
高感度モード	＝≡≡	風量を上がりやすくしたいとき
ノーマルモード	＝≡	標準感度にしたいとき
低感度モード	＝	風量を上がりにくくしたいとき

連動モード設定を変える 連動機能付の調理機器をご使用の場合に設定できます。

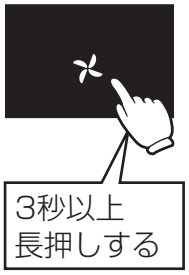
「換気連動モード」「照明連動モード」の設定を変えることができます。

換気連動モード

換気連動モードに設定すると、調理機器の「加熱の開始/切」と連動してレンジフードが省エネナビ運転を開始/停止します。
換気連動モードを解除すると、調理機器の「加熱の開始/切」とレンジフードの「運転開始/切」が連動しません。
初期状態では、換気連動モードに設定されています。

解除　→①スタンバイ状態で を3秒以上押し続ける。
②「ピー」と音がして、設定が解除されます。
再設定→①スタンバイ状態で を3秒以上押し続ける。
②「ピピッ」と音がして、換気連動モードが再設定されます。

※常時換気運転や排熱運転が設定されている場合は、設定を変えることができません。
（常時換気運転、排熱運転を設定／解除する 10ページ）



照明連動モード

照明連動モードに設定すると、調理機器の「入」と連動して照明が「点灯」します。
初期状態では、照明連動モードは解除されています。

設定　→① を3秒以上押し続ける。
②「ピピッ」と音がして、照明連動モードが設定されます。
解除　→① を3秒以上押し続ける。
②「ピー」と音がして、照明連動モードが解除されます。

※換気連動モードが解除されているときは、照明連動モードの設定はできません。



スタンバイ状態の設定を変える

スタンバイ状態の「常時点灯」「ブラックアウト」が選択できます。

常にボタン表示を点灯させたいときに、「常時点灯」を設定してください。
初期状態では、運転停止状態で30秒経過すると自動的にブラックアウト状態になる「ブラックアウト」が選択されています。

「常時点灯」　→①運転停止状態で [☼] と [24] を同時に3秒以上押し続ける。
②「ピー」と音がして、「常時点灯」が設定されます。

「ブラックアウト」→①運転停止状態で [☼] と [24] を同時に3秒以上押し続ける。
②「ピピッ」と音がして、「ブラックアウト」が設定されます。



※「常時点灯」設定でも、操作できるボタンのみが点灯し、操作できないボタンは点灯しません。
※常時換気運転や排熱運転が設定されている場合は、設定を変えることができません。
（常時換気運転、排熱運転を設定／解除する ☞10ページ）

排熱運転の開始温度を変える

「電気代を節約したいので運転時間を短くしたい」「不在時の音が気になるので運転時間を短くしたい」と感じた時に下記に従い設定をおこなってください。初期状態では、ノーマル温度に設定されています。

①運転停止状態で [🌡] と [24] を同時に3秒以上押し続けると、「風量」ランプが「＝」⇄「＝≡≣」と切り換わります。
（「風量」ランプ切り換わり時に「ピッ」と音がします）

②「風量」ランプが合わせたい感度モードのランプに移ったらボタンを放す。
「ピー」と音がして、設定された「風量」ランプが2秒間点灯します。（設定終了）



※常時換気運転や排熱運転が設定されている場合は、設定を変えることができません。
（常時換気運転、排熱運転を設定／解除する ☞10ページ）

感度モード	「風量」ランプ	内　容
ノーマル温度	＝	初期状態
高めの温度	＝≡≣	運転時間を短くしたい

常時換気運転時の給気清浄ユニットの「連動」/「連動解除」を変える

（別売オプションの給気清浄ユニットと専用幕板が設置されている場合の機能です）

「連動」に設定すると、換気運転時と常時換気運転時に給気が連動して運転します。
「連動解除」に設定すると、常時換気時には給気は運転しません。
換気運転時は給気が連動して運転します。
初期状態では、「連動」に設定されています。
冬季など、常時換気運転が寒いと感じるときには「連動解除」に設定してください。

①運転停止状態で [✱] と [24] を同時に3秒以上押し続けると、「風量」ランプが「＝」⇄「＝≡≣」と切り換わります。
（「風量」ランプ切り換わり時に「ピッ」と音がします）

②「風量」ランプが合わせたい感度モードのランプに移ったらボタンを放す。「ピー」と音がして、設定された「風量」ランプが2秒間点灯します。（設定終了）



※常時換気運転や排熱運転が設定されている場合は、設定を変えることができません。
（常時換気運転、排熱運転を設定／解除する ☞10ページ）

モード	「風量」ランプ	内　容
連動	＝	初期状態
連動解除	＝≡≣	冬季など常時換気運転時の給気の風を止めたい

もっと知りたいとき（続き）

設置条件の設定を確認する

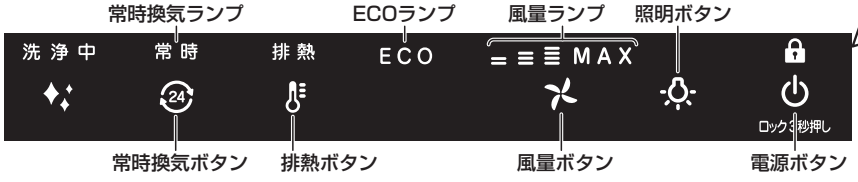
この操作は、設定が正しくされていないと思われるときのみにおこなってください。

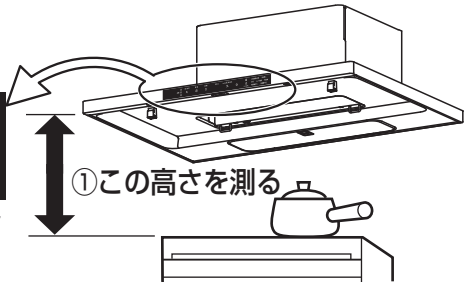
・本レンジフードは、正しくお使いいただくために設置高さの設定、調理機器の選択が必要です。
正しく設定されないと省エネナビ運転が正常に動作しません。

※整流板を取り付けた状態で設定してください。取り付けていないと設定ができません。

スイッチ部の説明

※下図は説明用に全ランプを点灯させた場合です。実際の点灯とは異なります。





事前準備

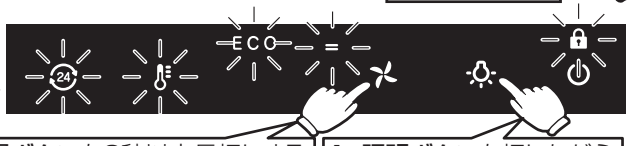
① レンジフードの下端とカウンター面の距離を測り、調理機器の種類を確認する。（右上図参照）

＜チェック欄＞
・設置高さ　：　（　　）mm
・調理機器　：　IHヒーター　・　ハイブリッドコンロ　・　ガスコンロ　（○で囲む）

② 電源 を3秒以上長押しでスイッチ操作を「ロック」する。
（「ピピッ」と音がして、「🔒」ランプが点灯し 常時換気、24、排熱、風量、照明 が点滅します）



③ 照明 を先に押しながら、後から 風量 を3秒以上長押しする。
（「ピピッ」と音がして設定しているランプ（「ECO」ランプ、「風量」ランプと 24 、排熱 ）が点灯します）

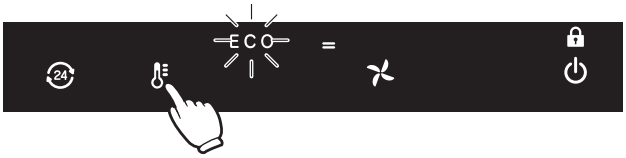


調理機器の設定

④ 排熱 を押して①で確認した使用調理機器の種類を選択する。

使用調理機器	「ECO」ランプ
IHクッキングヒーター	点灯
ハイブリッドコンロ Dual Chef	
ガスコンロ	点滅

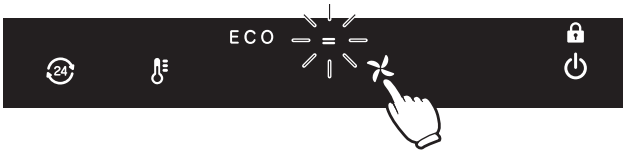
（ランプ切り換わり時に「ピッ」と音がします）



調理機器とレンジフードの離隔距離の設定

⑤ 風量 を押して①で測った距離を設定する。
（ランプが ┌ = → = = → = = ≡ → = = ≡ MAX ┐ と切り換わり、切り換わるたびに「ピッ」と音がします）

距離（mm）	ランプ点灯状態
800～849	= 点灯
850～899	= = 点灯
900～949	= = ≡ 点灯
950～1000	= = ≡ MAX 点灯



給気清浄ユニットの有無設定

※給気清浄ユニットの設定が無い場合は、作業不要です。

⑥ 24 を押して別売の給気清浄ユニット（ZRYZZVBRZZMZZ）の有無を設定する。

給気洗浄ユニット（ZRYZZVBRZZMZZ）	「常時換気」ランプ
無	消灯
有	点灯

（ランプ切り換わり時に「ピッ」と音がします）



全設定の完了

⑦ 電源 を押して設定を終了する。
（「ピー」と音がしてランプがすべて消灯）



故障かな！？ 次の項目を確認してください。

お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

それでも直らないときは、必ず分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店またはクリナップカスタマーセンターに修理を依頼してください。

	症　　状	考えられる原因	点検するところ／処置
運転	換気運転しない。	電源プラグが外れている。	電源プラグを差し込んでください。
		分電盤のブレーカーが「切」になっている。	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。
		スイッチ操作が「ロック」されている。	「ロック」を解除してください。（☞11ページ）
		ファンフィルター洗浄中である。	ファンフィルター洗浄が終わってから運転してください。
		整流板が外れている。	整流板を取り付けてください。
		設置条件の設定がされていない。	「🔒」と「ECO」が点滅している場合は、スイッチ操作を「ロック」して、設置条件の設定のしかたの①を確認し、③から設定してください。（☞26ページ）
	換気運転が止まらない。	常時換気運転している。	常時換気運転を停止する場合は、24を3秒以上長押しして設定を解除してください。（☞10ページ）
		排熱強運転している。	排熱運転を停止する場合は、🌡を3秒以上長押しして設定を解除してください。（☞10ページ）
		残置運転している。	約5～15分後に自動的に停止します。（☞8ページ） すぐに停止したい場合は⏻を押してください。
	換気運転するまで時間がかかる。	連動シャッター使用時に室内外の差圧を少なくする動作中である。	異常ではありません。 🌀を押すと、約5秒後に運転を開始します。 （☞11ページ）
	調理機器を運転してもレンジフードが運転しなくなった。	換気連動モードが解除されている。	換気連動モードの設定をおこなってください。（☞24ページ）
		調理機器の送信部が鍋などで隠されてる。	送信部が隠れないようにしてください。
		調理機器からの赤外線信号が反射できていない。	送信部の近くに立ちすぎたり、離れすぎないようにしてください。
		調理機器の電池が消耗している。	電池を交換してください。
		調理機器の電池の向きが間違っている。	電池が正しく取り付いているか確認してください。
	リモコンスイッチを操作しても運転しない。（別売のリモコンを使用している場合）	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換してください。
		リモコンの電池の向きが間違っている。	電池が正しく取り付いているか確認してください。
		リモコンの発信部や本体の信号受信部が油で汚れている。	発信部・信号受信部の汚れをふき取ってください。
		レンジフード本体が「ロック」状態になっている。（「ロック」状態では、リモコンスイッチを押すと本体から「ピピピッ」という音がします）	「ロック」を解除してください。（☞11ページ）
		リモコンの「タイマー」ボタンを押している。	故障ではありません。 リモコンの「タイマー」ボタンはご使用になれません。
	AiSEGを操作しても運転しない（別売のAiSEGを使用している場合）	AiSEG用通信アダプタの電源スイッチは入っていますか。	AiSEG用通信アダプタの電源スイッチを入れてください。 詳細は、AiSEG用通信アダプタの取扱説明書を参照してください。
		AiSEGの設定がされていますか。	AiSEG用通信アダプタの取扱説明書を参照してください。
		AiSEGの常時ボタンを押している。	故障ではありません。 AiSEGの常時ボタンはご使用になれません。
	排熱運転中に設定が解除される。	排熱運転を開始してから24時間経過した。	異常ではありません。そのままお使いください。 室外が暑い状態が続いているため、運転開始から24時間で解除するように設定されています。
	✨が表示されない	換気運転中である。	換気運転、省エネナビ運転、残置運転、排熱強運転を停止してから洗浄をおこなってください。
		スイッチ操作が「ロック」されている。	「ロック」を解除してください。（☞11ページ）
		整流板、排水トレイが外れている。	整流板、排水トレイを取り付けてください。
		ブラックアウト状態である。	スタンバイ状態にしてください。（☞10ページ）
その他	吸い込みが悪い。	ファンフィルターが汚れている。	ファンフィルター洗浄をおこなってください。（☞13～19ページ） 必要な場合はクリナップカスタマーセンターまで交換を依頼してください。（裏表紙に記載）
		給気が十分でない。	十分な給気を確保してください。
		エアコンや窓からの風があたっている。	風があたらないようにしてください。

故障かな！？（続き）

	症　　状	考えられる原因	点検するところ／処置
その他	吸い込みが悪い。	屋外のパイプフードの防鳥網が目詰まりしている。	防鳥網を掃除してください。
		パイプフードの防火ダンパーが閉じていて、排気されない。	ご使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切るか、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
	ファンフィルター洗浄中に水の音や機械音がする。	ファンフィルターの洗浄をしている音です。	ファンフィルター洗浄中は、水の音「ジャブジャブ」やポンプの給水音「ゴー」が聞こえますが、異常ではありません。
	照明がつかない。	LED照明が寿命をむかえている。	クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。（裏表紙に記載）
	給湯トレイに残水がある。	ファンフィルター洗浄時に給湯トレイに入れたお湯が少量残っている。	異常ではありません。 給湯トレイ内には、少量水が残ることがあります。 気になる場合は乾いた布などでふき取ってください。
	パネルや整流板に水滴がある。	ファンフィルター洗浄時に水がはね、パネルや整流板の内側へ付着した。	異常ではありません。 洗浄時の水はねにより、パネルや整流板の内側に少量の水滴が付着する場合があります。 気になる場合は乾いた布などでふき取ってください。
	排水トレイを外した際に、水が滴下する。	本体の排水口まわりに付着した水が滴下している。	異常ではありません。 乾いた布などで拭き取ってください。
		給湯トレイにお湯を入れすぎている。	乾いた布などでふき取ってください。 お湯を給湯トレイの目印にあわせて入れてください。
	部屋のドアの開閉がやりにくくなった。	給気口が目詰まりしている。	給気口に目詰まりがないか確認してください。 目詰まりしている場合は、給気口の汚れを取り除いてください。
		給気清浄ユニットのフィルターが目詰まりしている。 （虫、落ち葉、砂塵等） （給気清浄フィルターが設置されている場合）	レンジフードを停止してください。 レンジフード停止後に不具合が解消する場合は、フィルターの目詰まりが想定できますので、クリナップカスタマーセンターにお問い合わせください。 （裏表紙に記載）
洗浄ランプ	およそ2か月たっていないのに「洗浄」ランプが点灯した。	レンジフードの使用頻度が多いため、換気した風量が多い。	異常ではありません。 このレンジフードは換気した風量によって使用頻度を計算し、適切なタイミングで洗浄時期をお知らせします。 使用頻度が多い場合、およそ2か月より前に「洗浄」ランプが点灯する場合があります。（☞ 7ページ） 常時換気運転を使用している場合は、月に約1回洗浄が必要になります。
		常時換気運転を使用している。	
	使用していないのに、「洗浄」ランプが点灯、または「洗浄」ランプと「2回洗浄必要」ランプが点灯した。	主電源を入れてからおよそ2か月または2.5か月経過した。	異常ではありません。 このレンジフードは主電源を入れた時点で経過時間も測定し始め、洗浄時期をお知らせします。 （☞ 7ページ） ファンフィルター洗浄運転をおこなってください。 （☞ 13～19ページ）
	運転中にレンジフードの ⏻ を押した際や連動機能付の調理機器を切にした際に警告音が鳴る。	洗浄時期（「洗浄」ランプが点灯）や長期間洗浄していないこと（「洗浄」ランプと「2回洗浄必要」ランプが点灯）をお知らせしている。	ファンフィルター洗浄をしてください。 ※長期間洗浄していない場合は、2回続けてファンフィルター洗浄をおこなってください。
	ファンフィルター洗浄したのに「洗浄」ランプなどのランプ表示が消えない。	洗浄の途中で整流板または排水トレイが外されたため、洗浄が一時停止された。 （「再洗浄」ランプ「洗浄」ランプが点灯）	もう1度洗浄をおこなってください。 洗浄中は整流板や排水トレイを外すと洗浄が一時停止し、警告音が鳴ります。外した場合は、音が鳴っている間に元に戻してください。 洗浄中は整流板や排水トレイを外さないでください。
		長期間洗浄していなかった（☞19ページ）ため、もう1度洗浄が必要な状態である。 （「再洗浄」ランプ「洗浄」ランプが点灯）	もう1度洗浄をおこなってください。 長期間洗浄していなかった場合、続けて2回洗浄をおこなう必要があります。
		洗浄が正常に終了している。 （「終了」と「トレイ確認」ランプが点灯）	排水トレイの排水を処理して、再度排水トレイを設置するとランプが消灯します。
		機器が故障している可能性がある。 （「点検」ランプが点灯）	クリナップカスタマーセンターにお問い合わせください。 （裏表紙に記載）

点検・数字ランプ

症　　状	考えられる原因	点検するところ／処置
	機器が故障している可能性がある。	クリナップカスタマーセンターに お問い合わせください。 （裏表紙に記載）
		
		
		
		
	ファンフィルターが寿命をむかえている。	
	給気清浄フィルターが寿命を むかえている。	

お知らせランプ

点灯表示	状　　況	対処方法
	洗浄が終了しました。	排水トレイの汚水を捨ててから本体に セットしてください。
	整流板が外れています。	整流板を正しく取り付けてください。
	排水トレイがセットされていません。	排水トレイを空にして本体にセットして ください。
	ボタンが長押しされていません。	ボタンを３秒以上押してください。
	給湯トレイのお湯が不足しています。	給湯トレイの目印まで給湯してください。
	長期間洗浄されていません。 （警告音は、経過時間によって段階的に増えていきます）	続けて２回洗浄をおこなってください。 ※１回洗浄すると「２回洗浄必要」が消え、「再洗浄」と「洗浄」ランプの点灯が残ります。もう１回洗浄すると、正常に洗浄が終了します。
	洗浄が一時中断されました。	再度洗浄をおこなってください。 ※洗浄中は整流板や排水トレイを外さないでください。
	長期間洗浄されていません。（２回目）	
	点検が必要です。	クリナップカスタマーセンターにお問い 合わせください。

ランプ

	省エネナビ（エコ運転）の設定が されていません。	取扱説明書を参照して省エネナビ（エコ運転） の設定をしてください。

保　証　書

◉ 関連機器用
出張修理

シリーズ・品番	洗エールレンジフード・ZRS(60/75/90)ACF22M(S/W/U/T)Z / ZRS90KCG22M(S/W/U/T)Z		
保　証　期　間	取付・設置日から1年間	★取付・設置日	年　月　日
★お客様 ご住所			
★お客様 お名前	様　TEL　（　）		
★販売店 住所 店名	TEL　（　）		印 またはサイン

見本

ご販売店様へ　上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
   保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。
   (1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。
   (2) 消耗部品（照明の管球、グローランプ、パッキンなど）の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
   (3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
   (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）による故障および損傷。
   (5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
   (6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
   (7) 瑕疵（かし）によらない自然の損耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。
   (8) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。
      例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。
   (9) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。
      例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のクリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗浄剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。
      ならびに、浄化槽や洗浄剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。
   (10) タバコの火、商品を傷める薬品（有機溶剤、塩素系洗剤、強酸,強アルカリ性洗剤など）の使用により、発生した損傷。
   (11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。
   (12) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。
   (13) 建築躯体（くたい）の変形（強度不足、ゆがみ）など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
   (14) 異常電圧や指定外の燃料・電源（電圧・周波数）の使用および異常水質による故障および損傷。
   (15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
   (16) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
   (17) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。
   (18) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。
   (19) 本保証書のご提示がない場合。
   (20) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き換えられた場合。
   (21) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。
したがって、本保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録（年月日、修理内容、修理者名など）については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

ご相談窓口 ： クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22

アフターサービス

1.保証書

保証書は必ず「品番・お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

・この取扱説明書に記載されていない方法で使用され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

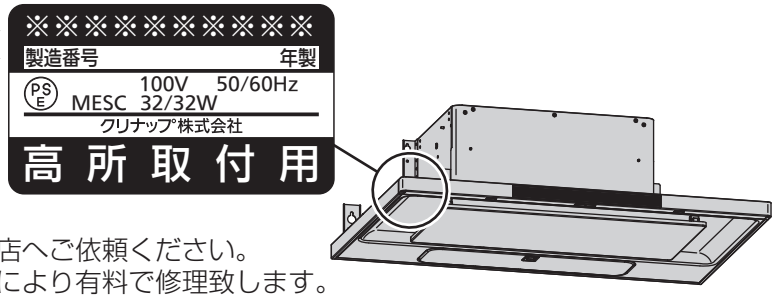
保証期間…お買い上げ日から1年間。ただし一般家庭用以外に使用される場合は除きます。

2.修理を依頼されるとき

異常のあるときには必ず運転を停止させてからお買い上げの販売店またはクリナップカスタマーセンター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

●保証期間中は保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が出張修理をさせていただきます。

ご連絡していただきたい内容
- ●ご住所・ご氏名・電話番号
- ●品番・お買い上げ日
- ●異常の内容（できるだけ詳しく）
- ●訪問ご希望日



※品番は下図の位置に表示してあります。

●保証期間が過ぎているときはお買い上げの販売店へご依頼ください。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。

3.補修用性能部品の保有期間

換気扇の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.アフターサービスなどについておわかりにならないとき

お買い上げの販売店またはクリナップカスタマーセンターにお問い合わせください。

5.換気扇点検のお願い

長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全にお使いいただくために点検をお願いします。

次のような症状がある場合は、事故防止のためにすぐに電源を切ってからお買い上げの販売店または工事店・クリナップカスタマーセンターに点検・修理をご依頼ください。（有料）

●スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり回転しなくなった場合。
●運転中に異常音がしたり振動がする場合。
●異臭がする場合。
●その他、異常を感じる場合。

点検・修理を依頼される場合は、お買い上げ日、品番、製造番号（フード前面下側のシールに表示）をご連絡ください。

仕様 静圧 0 Pa {0 mmH2O} 時の値です。

定 格	品 番	質量(kg)	ノッチ	消費電力(W)	換気風量(m^3/h)		騒音(dB)
					0 Pa時	100 Pa時	
単相 100 V 50/60 Hz	ZRS60ACF22MSZ	17	MAX	32	460	460	39
	ZRS75ACF22MSZ ZRS75ACF22MWZ ZRS75ACF22MTZ	17.5	強	20.5	380	―	37
	ZRS90ACF22MSZ ZRS90ACF22MWZ ZRS90ACF22MUZ ZRS90ACF22MTZ	18	中	11.5	300	―	32
	ZRS90KCG22MSZ ZRS90KCG22MWZ ZRS90KCG22MUZ ZRS90KCG22MTZ	21	弱	8	220	―	23
			常時換気	5	130	―	15

※排気抵抗値によって数値は異なります。
排気抵抗値とは、施工時に取り付けるダクト・ガラリ等の部材により機器が受ける抵抗のことです。

■LED照明の消費電力 5 W
（注）特殊仕様のものについては性能および仕様が一部異なることがあります。
■洗浄時の最大消費電力 32 W　　■ファンの最大消費電力 100 W
■このレンジフードは、ご使用にならないときでも約1 Wの電力を消費しています。
■廃棄処分について
この商品を廃棄処分される場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　日本産業規格 JIS C 9921-2 による

環境条件	電圧	単相100 Vまたは単相200 V	機器の定格電圧による
	周波数	50 Hzおよび / または60 Hz	
	温度	20 ℃	JIS C 9603参照
	湿度	65 %	
	設置条件	標準設置	機器の取付·設置説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間[a)] 台所　2410時間/年 居室　2193時間/年 トイレ　2614時間/年 浴室　1671時間/年	
注[a)] 常時換気（24時間連続換気）のものは、8760時間/年とする。			

廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

アフターサービスのご用命

●ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

●お電話でのご用命

0120-126-174　通話料無料

クリナップカスタマーセンター

●インターネット窓口（クリナップホームページ内）
https://cleanup.jp/support/
右の2次元コードで［お客様サポートサイト］へ

受付時間　9:00～17:00

＊9:00～11:00および12:00～13:00は混みあいます。
＊年末年始はお休みさせていただきます。
＊諸般の事情により営業日、受付時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
＊インターネット窓口では、Q&A（よくあるご質問）をご紹介しております。
修理、お問い合わせは専用ページでも受付しております。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。
あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針はhttp://cleanup.jp/に公表しております。

レンジフードフィルターなどの訪問販売に関するご注意

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

●AiSEG(アイセグ)に関してご不明な点がございましたら、下記ご相談窓口までお問い合わせください。

パナソニック株式会社
住宅エネルギーマネジメントシステム　ご相談窓口

フリーダイヤル　**0120-081-701**　携帯OK
【受付時間】365日／9:00～18:00
※携帯電話からもご利用になれます。　●上記番号がご利用できない場合 06-6780-2099

クリナップ株式会社
〒116-8587　東京都荒川区西日暮里 6-22-22

洗エールレンジフード　取扱説明書
KIKI-0272
2306A-32-49
9DWA54202BCP-P0623-1063